

第七十五回帝國議會 院 鑛業法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第四回

會議

昭和十五年二月二十九日(木曜日)午後二時
十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 櫻井兵五郎君

理事澤田 利吉君 理事松尾 三藏君

理事篠原 義政君 理事依光 好秋君

理事川俣 清音君

山本 厚三君 手代木隆吉君

內藤 正剛君 森下 國雄君

長野 長廣君 山田 順策君

木暮武太夫君 鶴 惣市君

石井徳久次君 原口初太郎君

箸本 太吉君 東條 貞君

森田 福市君 瀧澤 七郎君

小池 四郎君 長谷 長次君

坂本宗太郎君

出席政府委員左ノ如シ

企畫院總裁 竹内 可吉君

商工政務次官 加藤謙五郎君

商工省鑛產局長 小金 義照君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鑛業法中改正法律案(政府提出)

砂鑛法中改正法律案(政府提出)

○櫻井委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、前

會ニ引續キ質疑ヲ繼續致シマス

○澤田委員 資料ノ要求ヲ致シマス、一、

日本製鐵株式會社開業以來實驗研究ヲ行ヒ

タル事項、費額及ビ其ノ成績、二、日本製

鐵株式會社ニ於テ今後實驗研究セントスル

事項、三、日本製鐵株式會社法第九條ニ基

キ政府ニ於テ同會社ニ命令シタル事項、四、
日本製鐵株式會社法第十七條中同法第九條
ノ規定ニ依リ主務大臣ノ爲シタル命令ニ依
リ生ジタル損害額及ビ其ノ事項、ソレダケ
ヲ御願致シマス

○長谷委員 私ハ外デモアリマセヌガ、私
ノ質問ノ際ニ於キマシテ、是非御立會ヲ願
ツテ御答辯ヲ願ハナケレバナラヌ所ノ他ノ
官廳ノ役人ガ欲シイノデアリマス、ソレハ

此ノ埋藏物ノ開發ニ對シマシテ、何時モ他
官廳トノ間ニ權利ノ齟齬ガアリマシテ、其
ノ爲ニ非常ナ支障ヲ來シテ居ル現在ノ實情

ヲ、何トカシテ除キタイト云フ立場カラ質
問ヲ致シタイト思ツテ居リマス、ソレデ私
竝ニ外ノ委員各位カラモ御質問ガアルカト

考ヘテ居リマスカラ、以下申上ゲル所ノ各官
廳ノ役人ヲ、出來ルコトナラバ同日ニ同
ジ席ヘ御出マシテ願フヤウニ御取計ヒヲ願

ヒタイト思ツテ居リマス、先ヅ内務省ノ土
木局長、ソレカラ農林省ノ水產局長、ソレ

カラ帝室林野局長、ソレカラ國立公園ニ關
スル所ノ厚生省ノ當該役人、ソレカラ農林

省ノ國有林野ニ關スル當該役人、是ダケデ
アリマス、ドウゾ御取計ラヒヲ願ヒタイト
思ヒマス

○櫻井委員長 長谷君ニ申上ゲマス、政府
委員ノ方ハ何時デモコチラカラ御呼ビ致シ
マスガ、政府委員以外ノ方ハ何レ政府ト御

打合セヲ致シマス——石井徳久次君

モノニ直接關係ノナイコトデアリマスケレ
ドモ、御許ヲ願ヒタイト思ヒマス、鑛業法
全般ニ付キマシテ、内容ニ付テ四五ノ點ヲ

質問致シタイト考ヘマス、鑛業法ノ第三十
二條竝ニ第三十九條ニ依リマスルト、三十

三條ハ「公益ヲ害スルモノト認メタルトキ
又ハ鑛業ノ價值ナシト認メタルトキハ鑛業

ノ出願ヲ許可セス」是ハ出願ニ關スル問題
デアリマス、三十九條ハ「鑛業公益ヲ害ス

ルモノト認メタルトキハ主務大臣ハ鑛業權
ヲ取消スヘシ」斯ウ云フコトニナツテ居リ

マス、更ニ第四十一條ニハ「鑛業權者第七
十二條若ハ第七十四條ノ四第三項ノ命令ニ

從ハサルトキ又ハ鑛業稅ヲ納メサルトキハ
主務大臣ハ鑛業權ヲ取消スコトヲ得」斯ウ

ナツテ居リマス、七十二條ハ「鑛業上危險
ノ虞アリ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認メ

タルトキハ主務大臣ハ鑛業權者ニ其ノ豫防
又ハ鑛業ノ停止ヲ命スヘシ」斯ウナツテ居

リマス、總テ公益ヲ害スルヤウナ行爲ガア
ツタ場合ニ於テハ出願モ許可シナイ、同時

益デアルカ、其ノ内容ニ付テ明瞭ナ内容ヲ
定メタ解釋のナ規定ヲ置イテ居リマセヌ、

ソコデ國家の施設トカ或ハ社會公衆ノ生活
ヲ大體其ノ内容トシテ居ルモノト、斯ウ云

フ風ニ解釋シテ法ヲ運用シテ居ルヤウデア
リマス、此ノ鑛業法ノ中ニ於キマシテモ第

十條トカ第十一條トカ云フヤウナモノガ公
益的ナモノヲ指示シタ規定ノ一ツト云フ風

ニ解サレテ居リマス、具體的ノ場合ニ鑛業
ガ公益ヲ果シテ害シテ居ルカドウカト云フ

コトヲ認定スルコトニナツテ居リマス

○石井委員 此ノ公益ト云フモノノ解釋ニ
依リマス、是ハ非常ニ色々ナ關係ヲ及ボ

シテ參ルノデアリマシテ、從來御承知ノ通
リニ鑛業ニ關スル問題、國民ノ生活ニ關ス

ル問題、或ハ他ノ産業ニ關スル問題、斯ウ
云フ問題ノ間ニ種々ノ軋轢ガ生ジ、結局昨

年ノ議會ニ於キマシテハ鑛業法ガ改正ヲサ
レテ、鑛業被害ニ關スル所ノ原則ガ決ツタ

ノデアリマス、併シナガラ此ノ公益ト云フ

モノノ解釋次第ニ依リマスルト、色々又運

用ノ上ニ於キマシテモ問題ヲ生ジマセウ

シ、又之ヲ以テ解決出來ヌコトガ多々アル

ト考ヘルノデアリマス、例ヘテ申上ゲマス

ルナラバ、成程十條或ハ十一條ト云フモノニ

ハ斯ウ云フコトガ書イデアリマスルガ、是

ハ大體ニ於テ同ジ公益ニ致シマシテモ非常

ニ範圍ノ廣イ公益ト云フヤウナコトニ見ラ

レルノデアリマスルガ、或ハ國民生活ニ直接

ノ影響ガアル飲料水ノ缺乏、或ハ鑛業被害

ト稱セラレテ居リマスル家屋ガ倒壊ヲスル

付託議案

鑛業法中改正法律案(政府提出)
(第六二號)
砂鑛法中改正法律案(政府提出)
(第六三號)

トカ、田面ノ陥没デアルトカ、斯ウ云フヤ
ウナモノハ私共カラ申上ゲマスルナラバヤ
ハリ公益ノ中ニ入ルモノダ、斯様ニ考ヘルノ
デアリマス、可ナリ長イ間ノ鑛業法デアリ
マスルガ故ニ種々具體的ノ問題ヲ取扱ヒ、或
ハ又具體的ノ問題ニ直面セラレタコトガア
ルト考ヘルノデアリマス、是ハ新シク出來
タ法律デハナイノデアリマス、相當今日マ
デニ於テ公益ト云フモノハドウ云フモノデ
アルカ、其ノ點ニ對スル所ノ實際ノ取扱、
實際ノ解釋、斯ウ云フモノハ商工省ニ於キ
マシテハ相當アル答デアリマス、モウ少シ
具體的ニ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 國家公共團體等ノ施設デ
國民施設並ニ國民生活ニ直接ノ關係ノアル
事項トノ摩擦ノ場合ニ於キマシテ如何ナル
線ヲ引イテ之ヲ公益ト爲シ是以下ヲ公益ヲ
害サナイト爲シテ、公益ヲ害スルモノト害
サナイモノヲ判然區別シテ申上ゲルコトハ
只今申上ゲマシタヤウニ不可能デアリマシ
テ、具體的ニ事實問題ニ付キマシテ認定ス
ルヨリ外ナイノデアリマス、例ヘバ國民生
活ニ關係シテ居ルモノデアリマシテ、飲料
水ガ鑛山ヲ開發スル爲ニ缺乏スルト云フヤ
ウナ場合ニ於キマシテ、是ハ或ル意味ニ於
テ公益ト云フ見方モ出來ルノデアリマス、
又他人ノ家屋ニ影響ヲ及ボス或ハ又田畑ニ
影響ヲ及ボスト云フヤウナ場合モ公益ト云
ヘナイコトハナイカト存ジマスガ、是ハ寧
ロ他人ノ財産、或ハ生活ノ資料ト直接關係
ノアル問題ト云フ風ニ解シテ居リマス、唯
都會生活ト申シマスカ、多數ノ國民ノ生活
シテ居ル水道ノ水源地ヲ斷ツ場合ガアル、
或ハ非常ニ澤山人家ノ密集シテ居ル所デ、
而モ其ノ方面ノ土地ノ陷落等ガ起ツタ場合

ニハ非常ニ澤山ノ方々ノ共通の利益ヲ害
スルト云フヤウナ虞ノアル場合ニハ、公益
ヲ害スルト云フ風ニ、大體今マデ取扱ツテ
居リマス

○石井委員 公益ト云フ問題ニ付キマシテ
ハ幾ラ論ジテモ切リガナイト思ヒマスガ、
第七十三條ニ「鑛業上危險ノ虞アリ又ハ公
益ヲ害スルノ虞アリト認メタルトキハ主務
大臣ハ鑛業權者ニ其ノ豫防又ハ鑛業ノ停止
ヲ命スヘシ」所謂豫防ノ命令デアリマス、
之ニ對シマシテハ從來實際上ノ問題トシテ
私ハ豫防ノ命令ヲ出サレタコトハ比較的少
イト考ヘテ居リマスガ、實際ノ取扱ハドウ
云フ風ニナツテ居リマシタカ、御伺シタイ
ト思ヒマス

○小金政府委員 鑛業ガ鑛業上危害ヲ發生
スル虞アル場合ニ付キマシテ特ニ第七十二
條ノ危害豫防ノ命令ヲ出シタコトハ比較的
稀ダト思ヒマス、概ネ採掘ノ場合ニ於キマ
シテハ施業案ヲ出シマスノデ、其ノ施業案
ノ變更ヲ命ズルトカ、或ハ其ノ施業案ノ作
リ方ニ付テ適當ニ指導スルト云フヤウナ方
面カラ實際上豫防措置ヲシテ目的ヲ達シツ
ツアリマス、大部分ハ施業案ノ方デ取締ヲ
致シテ居リマス、併シナガラ第七十二條ノ
規定ノ適用ヲ全然除外ニ置イテ居ルト云フ
コトハゴザイマセヌ

○石井委員 第七十二條ノ前段ハ所謂鑛業
其ノモノガ直接危險ノ虞ガアル、斯ウ云フ
ヤウナ場合ノコトヲ豫想シタコト考ヘマ
ス、其ノ次ノ公益ヲ害スルト云フノハ直接
ニ鑛業其ノモノデハナクシテ公益ニ關スル
問題ト考ヘマス、其ノ公益ヲ害スル虞ガア
ル、斯ウ云フヤウナ時ニ對スル豫防ノ命令
ト云フヤウナコトヲ御發シニナツタコトガ

アルカドウカ、此ノ點モ一ツ御示シ願ヒタ
イト思ヒマス

○小金政府委員 鑛業ガ公益ヲ害スル虞ア
リト認メテ其ノ豫防命令ヲ出シタ例ハ、現
在マデノ所極メテ稀デアルト思ヒマス、只
今申上ゲマシタヤウニ、概ネ施業案ニ依リ
マシテ、其ノ豫防措置ヲ豫メ講ジサセルト云
フ取扱ヲ爲シテ居リマス、實例トシテハ施
業案デ概ネ豫防命令ノ内容ヲ豫メ鑛業權者
ニモ實施サセルト云フ風ナコトガ多イノデ
アリマス

○石井委員 私共モ比較的斯ウシテ豫防命
令トカ、或ハ豫防ノ設備ヲ命ゼラレタコト
ハ少ナカッタヤウニ考ヘラレルノデアリマス、
實ハ第七十二條ノ條文ヲモウ少シ活用サレ
マシタナラバ、昨年アタリカラ起リマシタ
鑛業法改正トカ何トカ云フ問題モ比較的少
ナカツタノデハナイカ、斯様ニ實ハ考ヘル
ノデアリマス

ソコデ尙ホ進ンデ御尋申上ゲタイト考ヘ
マスガ、御承知ノ通り昨年鑛業法改正ニ
ナリマシテ、色々ノ鑛業賠償ニ關スル問題
ガ決ツタノデアリマスガ、其ノ中ノ第七十
四條ノ二デアリマス「鑛物掘採ノ爲ノ土地ノ
掘鑿、坑水廢水ノ放流、捨石鑛滓ノ堆積又
ハ鑛煙ノ排出」云々ト書イデアリマス、此
ノ坑水、廢水ノ意義デアリマスガ、此ノ坑
水廢水ノ中ニハ、例ノ洗炭ニ依リマシタ所
謂廢水モ入ツテ居ルノカドウカ、之ヲ一ツ
聽イテ見タイト思ヒマス

○小金政府委員 廢水ノ中ニハサウ云フモ
ノモ包含サレテ居ルト考ヘマス

○石井委員 入ツテ居ルト思ヒマスデハド
ウモ甚ダ不明瞭ニ思ヒマス、入ツテ居ルナ
ラ入ツテ居ルトハツキリ仰シヤツテ戴キタ

イト思ヒマス

○小金政府委員 入ツテ居ルト解シマス

○石井委員 御承知ノコトト考ヘマスガ、
最近石炭ノ不足カラ、所謂石炭ノ量ヲ――
何デモ宜イト申上ゲテハ失禮デアリマスケレ
ドモ、サウ云フヤウナ意味カラ、例ノ洗炭
ト云フモノガ非常ニ出來テ來タノデアリマ
ス、是ハ御承知ニナツテ居ルコトト思ヒマ
ス、詰リ古イ時代ニ採掘シテ棄テテアツタ、
吾々ノ地方デボタ山ヲ稱スルモノデアリマ
ス、サウ云フボタ山ヲ更ニ崩シテ、サウシ
テ極メテ品位ノ低イ、カローリ分ノ少イモ
ノデアリマスケレドモ、ソレヲ採ツテ、
サウシテソレヲ販賣ニ供シテ居ルノデアリ
マス、其ノ洗炭ヨリ生ジテ居リマスモノガ
公益ヲ害シテ居ル、斯ウ云フコトニ付テハ
當局ハ御認識ニナツテ居ルト考ヘルノデア
リマスガ、是ハ私共承ル所ニ依リマス、ト、
鑛業法ノ取締ノ中ニハ入ラス、何ニ依ツテ
取締ツテ宜イノカ分ラヌト云フヤウナコト
ヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、併シ此ノ洗
炭カラ起ツテ來ル被害、所謂公益ヲ害スル
ト云フコトハ非常ナモノガアルノデアリマ
ス、極メテ簡單ナ設備ニ依ツテ炭ヲ洗ツテ
居ルノデアリマス、隨テ其ノ洗ヒ落サレマ
ス所ノ土砂ハ、是ハ非常ニ多イノデアリマ
ス、其ノ土砂ガ川ノ中ニズツト流レ込ンデ
シマフノデアリマス、ソレガ爲ニ附近ノ田
地ハ今マデ非常ニ乾イテ居ツタ、所謂乾田デ
アツタノガ水田ニナツタ、サウ云フ例ガ澤
山アルノデアリマス、ソレ等ニ對シマシテ
如何ニ抗議ヲ申込ンデモ、取締ル途モナク
テドウスルコトモ出來ヌ、斯ウ云フ狀態デ
アリマス、一體此ノ洗炭ハ何ニ依ツテ取締
ルノデアアルカト云フコトヲ一應伺ツテ置キ

タイト考ヘマス

○小金政府委員 洗炭設備ノ取締ハ鑛山監督局デ之ヲ實行スルコトニナツテ居リマス、其ノ炭ヲ洗ツタ所謂汚レタ水ヲ放流スル場合ニ於キマシテハ、洗炭設備ノ附屬設備トシテ、洗ツタ水ヲ清澄ナラシメテ放流スルト云フ風ヲ建前ニナツテ居ルノデアリマス、唯實際問題トシテハ非常ニ出炭ヲ急イデ居ルヤウナ際ニ、十分清澄ナラシメルダケノ餘裕ナクシテ放流サレテ居ルモノガアラウカト存ジマスガ、其ノ場合ニ於キマシテ、實害ガ生ジタナラバ、第七十四條ノ二ニ該當スルモノト思ヒマス

○石井委員 實際現地ヲ御承知ニナツテ居ルカドウカ存ジマセヌガ、大キイ炭坑デアルトカ、大キイ設備ヲシテ居ル所ノ所謂可ナリ大キイ鑛業者デアルトカ、或ハ相當ナ設備ヲヤツテ居ル鑛業者デアラナラバ、ソレハ相當ニ徹底シテ施設モヤツテ居ルカト存ジマスケレドモ、最近ニ於テ、此ノボク山ヲ崩シテ、サウシテソレヲ洗ツテ居ルト云フヤウナ連中ハ、ソレハマアサウ申シテハ甚ダ失禮デアリマスケレドモ、極メテ資力ノ薄弱ナ、其ノ日限リノ仕事ヲヤツテ居ルノデアリマス、隨テサウシテ清澄設備ガドウト云フヤウナ問題ハ決シテナイノデアリマス、所謂黒イ雪ノ滴ルヤウナ炭デアリナイノデアリマス、皆土デアリ、砂デアリマス、サウ云フモノヲ洗ツタ水ヲドシ、川ノ中ニ棄テシマフノデアリマス、其ノ甚シイ實例ヲ申上ゲマス、折角昨年マデ掛ツテ排水設備ヲヤリ、工事ノ復舊シタ陥落シタ地方デアリマスガ、其ノ地方ニ行ツテ調べテ見マス、其ノ上ノ方カラ流レテ來ル溝ノ水ヲ取ツテ炭ヲ洗ツテ其ノ水ヲ流

シテ居ル、其ノ爲ニ其ノ溝ガ其ノ洗ハレタ泥ヤ砂ノ爲ニスツカリ埋ツテシマヒ、殆ド道路ト同ジヤウニナツテ居ル、幾ラ喧シク言ウテモ、私共ノ承ル所ニ依リマス、鑛業法ノ取締ノ範圍以外ノモノダト云フヤウナコトデ鑛山監督局アタリデモ取締法ガナイ、結局何トモ仕様ガナク、内務省ノ方ノ取締ニ依ルヨリ外ナイト云フヤウナコトヲ承ツテ居ルノデアリマスガ、ソレデハ甚ダ徹底シナイ、ドウシテモ鑛業警察ト云フヤウナ方デ十分ナ取締ヲヤルノデナケレバ、此ノ害ヲ除クコトハ出來ナイダラウト思ヒマス、今ノアナタノ御話ハ、炭坑トシテノ設備ヲシタ洗炭ノ問題デアルト考ヘマス、私ノ申上ゲルノハサウデハナイノデ、ボク山崩シノ洗炭ノコトデアリマス

○小金政府委員 ボク山自體ガ崩レテ他人ニ損害ヲ及ボシタト云フ時ニハ、是ハ鑛業法第七十四條ノ二ニ該當スルモノデアリマス、ボク山ノボクノ棄テ方ニ付キマシテハ、是ハ鑛山監督局モ相當嚴重ニ取締ツテ居ルヤウデアリマスガ、只今石井サンカラ御指摘ニナリマシタ其ノ棄テ方ボクノ山ヲ崩シテ、他人ニ迷惑ヲ及ボシタト云フヤウナコトハ、ドウモ直接鑛業カラ來ルコトノミトハ斷定出來ナイデハナイカト思ヒマス、此ノ間ノコトニ付キマシテハ、事實上御迷惑ガ掛ツテ居ルト云フコトハ甚デ遺憾デアリマスカラ、私共ノ方デモ、果シテボク山ヲ崩シテ、之ニ依ツテ何等カノ商賣ヲスルト云フヤウナモノガ果シテ鑛業ニ入ルモノカドウカ、ソコ等ノ點ヲ一ツ研究致シマシテ、鑛業ニ入ルヤウデアレバ、或ハ又ボク山ガアルカラコソ、サウ云フコトガ起ルノデアルト云フヤウナ點デ、ボク山ノ處置マデ考

ヘナケレバナラヌカト存ジマスガ、サウ云フヤウナ點カラモ研究致シマス、唯此ノボク山ガ果シテ廢鑛又ハ鑛滓——鑛業法第三條ノ所謂廢鑛又ハ鑛滓ト云フ風ナモノニナルノカ、ソコヲ點モ具體的ノ場合ニ付テ少シ研究サセテ戴キタイト思ヒマス

○石井委員 能ク實情ガ御分リニナツテ居ナイヤウデアリマス、是以上申上ゲマシテモドウカト考ヘマスガ、是ハ至急ニ調査シテ戴キマシテ、此ノ委員會ノ終了セス中ニ一ツ何分ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、今申上ゲルヤウニ、承ツテ居ル所ニ依リマス、鑛業法デハ取締ガ出來ヌノダ、斯ウ承ツテ居リマスガ、是ハ吾々ノ筑豊地方ニ行キマス、最近ニ於キマシテハ殆ド何處ニ行ツテモ妙ナ設備ヲシテヤツテ居ルノデアリマス、殆ド十數年來棄テテアツタヤウナ家ノ下ノ石垣ニ敷イテアルヤウナモノマデ崩シテ、最近デハソレヲ割ツテ石炭トシテ賣ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ狀態ニナツテ居ル事情デアリマス、ソレガ今申上ゲルヤウニ耕地ニ對スル非常ナ被害ヲ及ボシテ居ルノデアリマス、或ハ河川ニ對スル被害ヲ及ボシテ居ルノデアリマシテ、實ハ縣廳アタリデモ困ツテ居ルノデアリマス、ドウゾ一ツ事情ガ分ラズニ居ルナラバ至急御取調下サイマシテ、本委員會ノ終了スルマデニ其ノ方針ヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス、是ダケ私希望ヲ申上ゲテ置キマス

○川俣委員 關聯質問ヲ致シマス、今石井サンカラ廢鑛ノ處理ニ關スル御質疑ガアツタノデスガ、私共ハ斯ウ解釋シテ居リマス、此ノ解釋ニ付テ誤リガアレバ御訂正ヲ願ヒマス、廢鑛ハ御承知ノヤウニ製鍊シタモノデハナイ、鑛滓ハ製鍊カスデアル、斯ウ云フヤウニ解釋シテ居リマス、尙ホ鑛滓及ビ廢鑛ニ付テハ、土地ノ所有權者ニ屬スルモノカ、或ハ採掘鑛業權者ニ屬スルモノカト云フコトハ、鑛業關係ニ於テハ大分議論ガアルヤウデアリマスケレドモ、鑛區内ニ於ケル鑛滓及ビ鑛區内ニ於ケル廢鑛ハ賣買サレテ居ルヤウニ承ツテ居リマス、隨テ是ハ鑛業權者ニ於テ責任ヲ負フベキモノト考ヘルノデアリマシテ、假令賣買サレマシタモノデモ、鑛業權者ハ其ノ責任ヲ負フベキモノト解釋シテ居リマスケレドモ、之ニ對スル見解ヲ異ニシテ居ラレカドウカ、伺ヒタイト思ヒマス

○小金政府委員 鑛區内ニアル廢鑛又ハ鑛滓ニ付キマシテハ、是ハ大體鑛業權者ノ責任ニ任セ得ルノダト解釋シマスガ、鑛區外ニアル廢鑛又ハ鑛滓ニ付キマシテハ、必ズシモソレト同様ニ取扱フカドウカ今ハツキリシタコトハ申上ゲラレナイト思ヒマス

○川俣委員 サウシマスレバ實際デハ恐ラク其ノボク山ト云フモノハ賣買サレタモノデアルト考ヘマス、隨テ是ハ鑛滓、廢鑛ノ處理ニ關スル事柄ト思ハレルノデアリマス、ヤハリ鑛業權者ガ責任ヲ負フベキモノト考ヘマスガ、之ニ付テ御同致シマス

○小金政府委員 其ノ點ハ後程研究致シマシテ御答致シマス

○石井委員 其ノ問題ハ其ノ程度ニ致シマシテ、豫防設備ニ關スル問題ニ付キマシテ、モウ少シ御尋申上ゲタイト思ヒマス、實ハ私昨年鑛業法ノ改正ニナリマス際ニサウシタ希望ヲ持ツテ居リマシタケレドモ、昨年私病氣ノ爲ニ出席出來ズ、残念ニ考ヘテ居リマスガ、頻々トシテ起ツテ參リマスアノ鑛業ノ被害ト、云フモノニ對シマシテ、事

後ノ處理ニ對シマシテハ立派ナ法律ガ出來
マシテ、是ハ救済サレルヤウデアリマスガ、
斯ウ云フヤウニ事後ニ起リマシタ問題ヲ救
済スルト云フコトハ、極メテ私ハ消極的ナ
コトデハナイカト考ヘルノデアリマス、寧
ロソレヨリモ、起ラスヤウニサセタ方ガ宜
イデハナイカ、寧ロ此ノ方ガ第一義デハナカ
ツタカト考ヘルノデアリマス、此ノ法文ニ
示サレテ居ル豫防ノ命令ガ十分ニ行カヌ
デアルナラバ、被害ノ起ラスヤウニスル方
ガ本當ノ行キ方デハナイカ、斯様ニ考ヘル
ノデアリマス、人ガ死ンデカラ悔ンデモ仕
方ガナイノデアリマス、死ナヌ前ニ健康ニ留
意スルト云フコトガ本當デハナイカト思ヒ
マス、サウ云フ意味カラ考ヘテ見マシテ、
アア云フ陥落トカ何トカ云フヤウナコトヲ
起キヌヤウニ、相當ノ設備ヲサセ、豫防ヲ
サセル、斯ウ云フ風ニ進ンデ行カレルコト
ガ本當ノ指導ノ仕方デハナイカ、斯様ニ考
ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御見解ハ
如何デアリマスカ

○小金政府委員 御説ノ通りデアリマシテ、
鑛業ノ爲ニ被害ヲ發生スルヤウナコトガナ
イヤウニ、豫メ豫防設備其ノ他ノ手段ヲ講
ゼシムルノガ本筋——デアリマス、其ノ爲
ニ鑛業警察規則ヲ成ベク嚴格ニ厲行致シマ
シテ、被害發生ノ機會ヲ極力少カラシメシ
ト致シテ居ルノデアリマス、併シナガラ鑛
業ハ何分ニモ地下作業デゴザイマスルノト、
現代ノ科學ヲ動員シテモ完全ニ鑛業カラ發
生スル所ノ被害ヲ防止スルコトガ出來ナイ
現狀デアリマス、ソレトモウツ、極端ナ
安全率ヲ採リマス、結局地下ニ埋藏サレ
テ居リマスル鑛物ヲ十分活用サセル譯ニ行
カナイト云フヤウナ、謂ハバ「デレンマ」ニ

陥ルヤウナコトモゴザイマス、即チ鑛業開
發上遺利ガ非常ニ大キナルト云フヤウナ
點モアリマスノデ、希望トシテハ、或ハ理
想トシテハ被害ナカラシメンコトヲ期シテ
居ルノデアリマスガ、ドウモ今日ノ科學知
識デハ如何トモシ難イ點モ、正直ニ申上ゲ
マス、トゴザイマス、ソレ等ノ點ヲ考慮シテ、
先ヅ人智ノ及ブ限り豫防施設等ヲ致シマシ
テモ、尙且ツ災害ガ起ツタ場合ニ於キマシ
テハ、普通ノ我國ノ法律常識カラ言フ過失
責任制度カラ一步ヲ出マシテ、所謂無過失
損害賠償責任、所謂結果責任ト言ハレル法
制ヲ立デマシテ、現實ニ起ツタ問題ヲ解決
シテ行クト云フコトヨリ外ナイト存ジテ居
ルノデアリマス、併シナガラ損害賠償ノ制
度ガアルカラ、豫防ナリ、鑛業警察規則ノ
取締ナリヲ疎カニシテ宜シイト云フノデハ
ナイノデアリマス、益、此ノ方面ヲ強化シ
タイト云フ意味ニ於キマシテ、鑛山監督局
ノ機構ヲ出來ルダケ整備シツアルノデア
リマス

○石井委員 私共モ大體能ク業界ノ事情モ
存ジテ居ル方デアリマス、隨デ私ガ申上ゲ
ルコトモ一種ノ理想ニ近イト考ヘルノデア
リマス、實際ニ於テ出來ニクイコトデア
カトモ考ヘルノデアリマス、併シ
ナガラ唯出來タ後ノ尻拭ヒヲサセルト云フ
コトノミヲ考ヘラレズニ、ヤハリ豫防ト云
フコトニ付キマシテモ相當ニ力ヲ入レテ戴
クト云フコトノ方ガ、業者モ助カレバ、又
此ノ事業カラ影響ヲ受ケル地方ノ者モ助カ
ルノデアリマス、安心ガ出來ルノデアリマ
ス、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス、
是ハ一ツ十分ニ御研究ヲ願ツテ置キタイト
考ヘマス、必ズシモ色々ナ被害ヲ未然ニ防

グト云フコトガ絕對ニ出來ナイトハ考ヘナ
イ、ヤハリ考究ヲスレバ當然出來ルコトモ
アルダラウト考ヘマス、例ヘバ嘗テ非常ニ問
題ニナツテ居リマシタ「セメント」工業カラ
出デ参リマスルアル「セメント」ハ微塵ト申
シマス、サウシタモノガ非常ニ危害ヲ及ボ
シテ居ツタノガ完全ニ救ハレタト云フヤウ
ナ事實モアルノデアリマス、仕様ニ依ツテ
ハ出來ルノデアリマス、十分ニ御考慮ヲ願
ツテ置キタイト考ヘマス、其ノ次ニ鑛業警
察ニ關スル問題デアリマス、一體鑛業警察
ト云フモノノ置カレマシタ根本ノ目的ト云
フモノハ、ヤハリ鑛業カラ出來テ参リマス
ル所ノ各種ノ被害、要スルニ鑛業ヲ取締ル
ト云フコトガ目的デアルト考ヘルノデアリ
マス、現在ニ於キマスル鑛業警察、若
クハ監督局ノ方ノ立場ト云フモノハ、殆ド
業者ノ保護ト申シマセウカ、指導保護、斯ウ
云フヤウナコトニノミ其ノ力ヲ盡シテ居ル
ノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、
寧ロ鑛業者側ノ方ヲ取締ルト云フ側ノ方ハ、
段々ニ疎カニナツテ居ルノデハナイカ、斯
様ニ考ヘルノデアリマス、是ハ決シテ鑛業
警察ト云フモノヲ置カレマシタ理想デハナ
イノデハナイカ、斯様ニ考ヘマス、果
シテ現在ノ鑛業警察ノ機能ト云フモノハ、
鑛業法ガ明示、或ハ鑛業法ガ要求シテ居ル
ガ如キ機能ヲ本當ニ發揮シテ居ルカドウカ、
疑ヒヲ持ツテ居ルノデアリマス、之ニ
對シマスル御考ハ如何デアリマスカ

○小金政府委員 鑛山監督局ノ機構モ只今
御説ノヤウナ缺陷ガアルノデハナイカト云
フコトハ、吾々モ全然感ジナイ譯デハゴザ
イマセス、唯此ノ前ノ時ニ御説明申上ゲマ
シタガ、鑛山監督局ノ機構ガ日本ノ鑛業ノ

發達ニ比較致シマシテ、極メテ小サ、其
ノ職員其ノ他専門家モ少イノデアリマシテ
勢ヒ鑛山ノ指導開發ノ方面ト又鑛業警察方
面トノ此ノ兩者ガ、動モスルト混同スル虞
ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソコデ完全ト
ハ参リマセスケレドモ、成ベク鑛山ノ指導
促進ト云フ方面ヲ分擔スルモノト、鑛業警
察ヲ分擔スルモノト、之ヲ成ベク分ケタイ
ト云フ趣旨カラ、鑛山監督局ノ分課規程ヲ
改正致シマシテ、取敢ズ指導方面助長方面
ヲ主トシテ擔當スル所ノ施設課、ソレカラ
鑛業警察ヲ分擔スル方ノ鑛業警察課ト云フ
風ニ分ケテ、ソコ等ノ點モ御説ニモアリ
マシタ所ヲ成ベクハツキリシテ、指導ハ指
導、保護助長ハ助長、併シナガラ是ガ警察
的監督ト云ツタ立場カラ、十分嚴ニ其ノ職
務ヲ履行サセタイト云フ風ニ考ヘテ居リマ
ス、併シナガラ是等ノ分課規程ノ改正等モ
最近行ツタバカリデアリマシテ、此ノ運用
ニ依ツテ將來成ベク制度ヲ立テタ趣旨ヲ沒
却シナイヤウニ、ソレノ分掌スル職務
ヲ履行スルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマ
ス

○石井委員 今承ツテ見マス、大體御氣
付ニナリマシテ、相當鑛業警察ノ内部ノ機
構ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、御考
慮ニナツタヤウデアリマス、ドウゾ折角其
ノ機構ノ目的ノ達セラレマスヤウニ、其ノ
效果ノ發揮シマスヤウニ希望致シマス——
委員長、マダ農林省ノ關係ノ方ハ御出席ニ
ナリマセスカ

○櫻井委員長 今豫算委員會ニ出デ居ラレ
マス、要求シテ居リマススケレドモマダ見
エラレナイノデアリマスガ、若シソレノミ
デアリマスレバ留保ヲ願ヒマシテ……

○石井委員 實ハ關聯シテ一緒ニ聽キタイ
ト考ヘルノデアリマス、モウ一度御要求ヲ
願フテ置キタイト思ヒマス

○櫻井委員長 今モ要求ヲ致シマシタ、併
シ時間ガ一寸マダ分リ兼ねマスカラ、出來
ルナラバ留保セラレマシテ、次ニ見エタ時
ニ又發言ヲ願ヒマス

○石井委員 ソレデハ別ノコトヲモウ少シ
承ツテ見タイト思ヒマス、昨年ノ法律ノ改
正ニ依リマシテ、積立金制度ト云フモノガ
出來タノデアリマス、是ノ施行令ヲ見テミ
マス、一應當リ五十錢以內ヲ蓄積スル、

斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス
ガ、大體此ノ積立金制度ト云フヤウナ問題
ニ付キマシテハ、相當意見ガアツタノデア
リマス、私共ハ寧ロ積立金ト云フコトヨリ

ハ、保險制度ノヤウナ意味ヲ以テ進シタ方
ガ宜イト云フヤウナ見解ヲ持ツテ居リマス
シタガ、結局此ノ積立金ト云フヤウナ制度ニ

ナツタノデアリマス、一應五十錢以內
ト云フモノヲ積シテ參リマシテ大體ドウ云
フコトニナルカ、所謂積立金ノ計畫ト申シ

マセウカ、一應五十錢ノ金ヲ積シテ行ツテ
一體ドウ云フコトニナルカ、斯ウ云フ實際
ノ五十錢ヲ計算サレマス場合、五十錢ト

云フモノノ基礎トシテ定メラレマシタ場合
ノ御計畫等ガアリマスナラバ承ツテ見タイ
ト思ヒマス、一年ニ一體ドウ位ノ積立金ガ

出來ル、サウスルト何年スレバドウ位ニナ
ル、此ノ位ノ被害ガアツテモ大丈夫ダト云
フヤウナ、大體ノ目安ガアルドラウト思ヒ

マス、ソレヲ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマ
ス

○小金政府委員 鑛害賠償ノ中ニ「石炭ヲ目
的トスル鑛業權者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ

石炭掘採ノ爲ノ土地ノ掘鑿ニ因リテ生スヘ
キ損害ノ賠償ヲ擔保スル爲其ノ掘採シタル
石炭ノ數量ニ應ジ毎年一定額ノ金錢ヲ供託
スヘシ」ト云フコトニナツテ居リマシテ、此
ノ供託金ハ要スルニ損害ノ賠償ヲ擔保スル
目的ヲ達スル程度ノ金額ニナル、斯ウ云フ
風ニ解釋シテ居リマス、今御尋ノドノ位ノ
金額ニナツテドウ云フ風ニナルカト云フコ
トハ、主管局デアリマス燃料局ノ方ニ答辯
ヲ願フコトニ致シマス

○石井委員 此ノ積立金ト云フモノハ燃料
局ノ方ノ受持ニナツテ居リマス、ソレデ
ハ一ツ適當ノ機會ニ御説明ヲ願ヒタイト思
ヒマス、ソレカラ尙ホ此ノ機會ニ御尋ヲ申

上ゲテ置キマスガ、此ノ積立金ト云フモノ
ハ損益計算ノ上ニ於キマシテ、所謂所得稅
ノ計算ニ於キマシテハ損ノ勘定ニナルノデ

アリマスガ、或ハ本當ノ積立金ノ勘定ニナ
ルノデアリマス、之ヲ承ツテ置キタイ
○小金政府委員 稅務當局ノ見解ニ依リマ

ス、普通ノ積立金ノ取扱ハスルサウデア
リマス、即チ其ノ期ノ總損金ノ中ニ加ヘナ
イサウデアリマス

○石井委員 序ニ稅ノ問題ヲ御尋申上ゲマ
スガ、御承知ノ通り今回ハ鑛產稅ト云フモ
ノヲ廢セラレタノデアリマス、ソレカラ鑛

業ニ對シマス營業稅ト云フモノハ、今マデ
免除サレテ居ツタノガ營業稅ガ課カルヤウ
ニナツタノデアリマス、隨ツテ此ノ鑛業法

ニ規定サレテ居リマスソレ等ニ對スル所ノ
規定、八十二條八十八條ト云フヤウナモノ
ハ、當然是ハ廢止ニナルモノデハナイカト

思ヒマスガ、今度ノ改正案ニハ出デ居ナイ
ヤウデアリマスガ、コレデ差支ナイノデア
リマス

○小金政府委員 稅法ノ改正ノ中ニ於テ之
ヲ改廢致スコトニ致シテアリマス、向フノ
方ガ效力ヲ持ツトコチラガ廢止サレル、改
正サレルト云フ建前デ、向フノ條文ガ出來
テ居リマス

○石井委員 サウスルト是ハ自然ニ廢止セ
ラレルト、斯ウ云フ風ニナルノデアリマス
カ

○小金政府委員 稅ニ關スル法律ノ方デ鑛
業法ヲ改正スル建前ニナツテ居リマス

○石井委員 序ニ御尋申上ゲマスガ、是ハ
昨日私地方稅制ノ際ニ指摘致シマシテ質問
致シタ問題デアリマス、地方稅ヲ取扱ハレ

マス内務當局ノ從來ノ立場モ私共意見ヲ聞
キ、從來ノ話モ聞イテ見マス、實ハ御承
知ノ通りニ、鑛產稅ニ依ツテ從來ノ經理ヲ

ヤツテ居リマシタ鑛山地方ノ町村ト云フモ
ノハ、今度鑛產稅ガ廢止セラレルト云フコ
トデ非常ナ影響ヲ及ボシテ參ルノデアリマ

ス、然ルニ内務當局其ノ他ノ話ヲ聽イテ見
マス、今同成程八十八條ト云フモノハ撤
廢ニナリ、同時ニ八十二條ノ關係モ無クナ

ツテ鑛產稅、所謂產額ニ對スル所ノ稅金ト
云フモノハ無クナルケレドモ、營業稅ト云
フモノガ賦課サレルノデアアル、隨テ營業稅

ハ原地還付ノ性質ヲ持ツテ居ルガ故ニ、大
シタ影響ハナイデアラウ、同時ニ八十八條
ノ第二項デヤハリ是マデ直接鑛業ニ關係ア
ル建物、或ハ工作物、斯ウ云フモノニ對スル
所ノ課稅ガ免除サレテ居ツタモノガ今回ハ
撤廢サレルノデアアル、隨テソレ等ヨリ生ズル
所ノ稅金ト云フモノハ相當ニ取レルカラサ
ウ憂慮スル必要ハナイデアラウ、斯ウ云フ
ヤウナ説明ヲ吾々屢、聽イテ居ツタノデアリ
マス、又實際ニ於テ其ノヤウニナルモノト

信ジテ居ルノデアリマス、然ルニヤハリ今
同提案ニナツテ居リマス所ノ鑛區稅法ト云
フモノヲ見デミマス、昭和十六年マデ
ハ直接鑛山ニ關係アル所ノ家屋ニ對シテハ
府縣稅ヲ課セルコトハ出來ヌト云フコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、非常ナル矛盾ガ
其ノ間ニ生ジテ居ルノデアリマス、之ヲ私
ハ指摘シテ昨日質問ヲ致シマシタガ、色々
ノ御説明ハアツタヤウデアリマスガ、是ハ
一體私ハ商工省ニ關係アルコトヲ考ヘマス
ガ、ドウ云フ風ナ御見解ニナツテ居ルノデ
アリマス

○小金政府委員 鑛產稅ト營業稅トノ關係
ハ只今御説明ニナリマシタノデアリマスガ、
鑛區稅ノ取扱ニ付キマシテハ、是ハ現在ノ
鑛區稅ニ關スル規定ヲ單行法トスル、サウ

シテ之ニ對スル所謂附加ノ稅ヲ成ベク輕
クスルト云フ趣旨ハ鑛產稅其ノモノノ變形
サレル營業稅ニ付テモ同様デアリマスガ、
急激ニ鑛業權者ノ負擔ヲ重クスルト云フヤ

ウナコトハ鑛業ノ助長發達ノ上カラ考ヘマ
シテ私共不當ダト思ツテ居リマス、ソコデ
不當ニ課セラレルトハ勿論考ヘテ居リマセ

スガ、成ベク現狀カラ徐々ニ變革サレルヤ
ウナコトヲ私共ハ希望シテ居リマス

○石井委員 後ノ私ノ質問ハ農林省ニ關係
ノアルモノデアリマス、保留致シテ置キマス
カラ、農林省ノ政府委員ガ御出デニナリマ

シタラ其ノ際ニ御許願ヒマス

○櫻井委員長 依光好秋君
○依光委員 私人質問ハ極ク簡單デゴザイ
マスガ、主トシテ試掘權ニ關スル問題デゴ
ザイマス、之ニ關聯シテ對滿事務局ノ責任
アル御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマシテ、出席
ヲ求メテ居リマシタガ、見エテ居リマセウカ

○櫻井委員長 見エマシタ

○依光委員 今回ノ案ノ改正ノ主體トナル所ノモノハ試掘權ノ年限ヲ四箇年ト云フコトニナツテ居リマスルガ、之ヲ越ス時ハ取消サレルコトガ主ナルモノデアリト私ハ思フノデアリマスガ、一旦得テ權利ヲ、而モ税金ヲ國家ニ拂ツテ何ノ怠慢モナイモノガ、唯年限ガ長期ニ互ルカラ之ヲ取消スト云フコトハ國家トシテ私ハ非常ナ殘酷ヲ取扱ハナイカト思ハレルノデアリマス、併シ是ハ先般來カラ色々當局ノ御意見ヲ承ツテ見マスルト、一日モ早く本當ノ仕事ニ著手セシメテ埋藏寶庫ヲ開發セシメタイト云フノガ本旨ノヤウニ承ツテ居リマスガ、此ノ點ニ付キマシテ私ノ考ヘマス所ハ、此ノ試掘權ヲ得ナガラモ、四年モ五年モ何等著手シナイト云フノニハ、二ツノ理由ガアルト思フノデアリマス、其ノ一ツハ何ト申シマシテモ、鑛山開發ニハ資金ヲ要シマスカラ資金、其ノ次ハ人、此ノ二ツノ關係ガ主タルモノデアアルノデゴザイマスガ、最近ノ鑛業界ガ非常ニ盛ンニナツテ參リマシテカラノ鑛業界ノ現狀ヲ見マスルト、資金ヲ多ク持ツ者ハ山ヲ幾ツ持ツテ居リマシテモ、四年ノ年月ヲ經ナイデモ、一年デモ二年デモ直チニ試掘ニ掛リ、採掘ニ掛ルコトガ出來ルノデアアルガ、山間僻地ニ於ケル資金ノ乏シイ鑛業者ハ中々左様簡單ニ之ニ著手スルコトガ出來ナイノデアリマス、隨テ中央ニ出テ來テ色々傳手ヲ求ムルカ、先ヅ第一ニ山ノ狀態ガドウナツテ居ルカ、山ノ價值ガアルカドウカト云フコトガ試掘採掘ニ著手スルニ先立ツ條件デアルト思フノデアリマスガ、最近ノ狀態ヲ見マスルト、此ノ技術者ガ非常ニ缺乏シマシテ、

商工省ニ依頼致シマシテモ、又他ノ權威ノアル會社ニ依頼致シマシテモ、早速調査ニ出シテ呉レナイノデアリマス、而モ調査ニ出シテ戴クト致シマシテモ、商工省ニ御頼ミシテモ、技師ノ一日何十圓カノ日當、費用、旅費等皆業者ガ之ヲ支出シナケレバナラス、金ノアル者ハソレガ出來ルノデアリマスガ、金ノナイ所ノ地方ノ山間僻地ニ居ル鑛業者ハ、サウ云フヤウナ傳手モアリマセヌシ、隨テサウ云フ資金ガナイ爲ニ、事業ニ著手シタイ心ハ一杯デアリナガラモ、サウ云ツタ機會ニ恵マレナイ爲ニ、徒ラニ是ガ遷延スルノガ多ウゴザイマス、斯ウ云ツタモノガ四年五年、知ラズ識ラズノ間ニ月日ガ經ツコトハ當リ前ノコトデアリマス、デアリマスカラ、私ハ此ノ四年ヲ越エテハナラスト云フ此ノ制定ヲナサルコトニ反對スル者デハアリセヌガ、國家ガ今少シ親切デアルナラバ山間僻地ニ於ケル所ノ豐富ナル鑛山ニ對シテ政府自ラガモツト救ノ手ヲ伸ベテヤル方法ガアリハシナイカ、ソレハ一例ヲ申シマスト、商工省ニ御頼ミスル場合ニ於テモ、今少シ簡潔ニ商工省ガ、宜シ來タ、ソレデハ私ノ方デ技師ヲ出シテヤラウト云フ風ニ、モウ少シ簡潔ナ方法ヲ御執リニナル必要ガアリハシナイカ、而モ現在ノヤウナ旅費日當ヲ加算サレテ、私ノ選舉區ハ高知縣デアリマスガ、高知縣ナドニ商工省ノ技師ヲ御頼ミスルト致シマスト、三週間一箇月ノ日子ヲ經ナケレバ十分ナ調査ヲ完了スルコトガ出來ナイノデアリマスルガ、是ハ莫大ナ費用ヲ要スルノデアリマス、隨テ國ニ頼ツテ、商工省ガ最モ良イ保證ヲシテ呉レテ、此ノ山ハ見込ガアルト云フコトガ保證サレマスト、假令自分ニ金ガナク

トモ、資金ヲ調達シマシテ、山ノ開發ニ著手スルコトモ出來得ルノデアリマスガ、サウ云ツタ便ガナイ爲ニ、私ノ縣ナドデハ、非常ナ有望ナ鑛區ガ隨分マダ未開發ノ儘ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點カラ申シマシテ、私ハ商工省ガ今一步進シテ御執リニナツテ、即チ今ノ狀態デハ御無理カモ知レマセヌガ、色々ナ產金獎勵ノ意味カラ申シマシテモ、鑛山開發ノ意味カラ言ツテモ、半民半官ノ國策會社ガ出來テ居ル今日、商工省ガ技師ヲ養成スルナリシテ、斯ウ云ツタ特別ノ技師ヲモウ少シ御殖ヤシニナツテ、モウ少シ簡單ニ吾々民間ノ需メニ應ズルヤウナ途ヲ御講ジニナルコトガ、非常ニ必要ナ場合デハナイカト考ヘルノデアリマス、サウ致シマスト、四年モ試掘權ヲ延シテ置クト云フヤウナ怠慢ナ民間デモ、自ラ措置ガ開ケテ來マシテ、ソコニ早く著手スル方法ガ講ゼラレルト思フノデアリマスガ、現在ノ狀態デハ私共ハ商工省ヘ頼ミニ行キマシテモ、技師ガ今非常ニ忙シクテ、出張シテ居ナイトカ、金ヲ出シテモ一人モ融通ガ付カナイト云フヤウナ狀態ガ何時モ續イテ居ルヤウデゴザイマスガ、是デハ私ハイケナイト思フ、デアルカラ斯ウ云フ法律ヲ改正ナサルニ先立ツテ、先ヅ商工省ハ斯ウ云ツタ技術者ノ養成、モウ少シ人ヲ殖シテ民間ノ要求ニ應ズベキモノニハ應ズル、旅費ノ點ニ於キマシテモ日當ノ點ニ於キマシテモ、寧ロ進シテ國家ガ斯ウ云フコト無料デヤツタル、殆ド金ヲ民間カラ取ラズニ喜ンデ此ノ調査ニ當ル、斯ウ云フヤウナ機關ヲ設置サレルノガ、此ノ法案ヲ改正サレルニ先立ツタ必要ナル國家ノ要求デハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、此ノ

點ニ付テ何カ特別ナ御考ガ商工省ニゴザイマスカドウカ、此ノ點ヲ先ヅ伺ツテ見イノデゴザイマス

○小金政府委員 洵ニ御尤ナ御質問デアリマシテ、技術者ノ不足或ハ資金ノ不足、其ノ他……鑛山ガ開發セラレナイ原因ノ一ツニハ、サウ云ツタヤウナ不足トカ或ハ資材ノ不十分デアルトカ云フヤウナ點モアルト存ジマス、是等ノ點ヲ十分考慮致シマシテ、鑛山用ノ資材ニ付キマシテハ、之ヲ確保スベク、色々ナ施設モヤツテ居リマスガ、更ニ之ヲ擴充スル積リデアリマス、ソレカラ商工省デ鑛山關係ノ技師ヲ養成シタラト云フ御意見ノヤウデアリマスガ、是モ出來ルナラバ洵ニ結構デアリマスガ、併シ鑛山ノ技術者ノ如キハ中々其ノ仕事ガムヅカシイノデ、影響スル所モ亦大キイノデゴザイマス、例ヘバ餘リ有望デナイモノデモ有望ノヤウナ報告ヲ勝手ニサレマスト、大變ナ弊害ガ出來マス、又其ノ逆ニ非常ニ用心シテ、相當鑛量ガアルト思ツテモ、若シ無カツタ場合ヲ考ヘテナドト云フノデ報告ヲ作ラレマスト、是亦非常ナ弊害ヲ生ジマス、左様ナ關係デ只今ノ旅費、日當等ヲ取ツテ役所ノ技師ガ出張スル、所謂受託調査ノ制度ナドニシマシテモ、ソレダケノ金ヲ據出シテ戴キマシテ、其ノ代リ技術者トシテ出來ルダケノ能力ヲ盡シテ調査書ヲ作ツテ差上ゲル、斯ウ云フ建前ニナツテ居リマス、併シ是ハ之ヲ利用サレル方ガ一方ニアツテ宜シイノデ、其ノ外ニ政府ガ自ら進シテ鑛山ノ狀況ナリ、地質ノ狀況ヲ調査シタラドウカト云フ御趣旨ハ洵ニ御尤モデアリマス、其ノ經費トシテ特ニ今回ノ試掘權制度ヲ改メルカラト稱シテ、此ノ際經費ハ要求シテゴザイマセ

スガ、コト三年バカリ鑛山監督局ノ機構擴充ニ付キマシテ、相當數ノ技術者其ノ他ノ職員ヲ配置シテ參ツテ居リマス、ソレカラ尙ホ必要ガアリマスレバ、此ノ法律施行ノ準備ハ施行シテカラモマダ四年間ゴザイマスガ、此ノ施行準備ニ際シテ必要ト認メラレ、且ツ技術者ガ出來ルト云フ見込ガアリマスレバ、其ノ經費ハ是非御願シタイト存ジマス、只今ノ所デハ今度ノ金ノ方面ノ豫算ニ於テ相當ノ經費ノ増額及ビ職員ノ増加ヲ御願シテ居リマス、是ハ金バカリヲ目的トスルノデハナクテ金ヲ主ニシテヤリマスガ、金銀銅鑛ト云フモノモアリマスシ、又金ノ目的トスル鑛區デアリナガラ他ノ鑛物ノアルコトモ澤山アリマスシ、要スルニ鑛山監督局ハ商工省ノ其ノ方面ノ職員ヲ増シマシテ、出來ルダケ其ノ方面カラ鑛業權者ノ便宜ヲ圖ツテ鑛山ノ開發ニ資スル、斯ク云フ考デアリマス、尙ホ日本產金振興株式會社ト帝國鑛業開發株式會社ト設立ノ使命ニ鑑ミマシテ、此ノ方面ノ人的要素ノ充實ヲ圖ツテ、只今依光サンガ仰セノヤウナ場合ニ十分身輕ニ相談ニ應ジ、又其ノ調査ニ伺ヘルト云フ風ニ指導致シタイト只今考ヘテ居リマス、尙ホ其ノ實行ニ著々今當リツツアリマス

組織ニナツテ、中々官僚化シタト申シマスト語弊ガアルカモ知レマセスガ、民間會社ト思ヘナイヤウナ點ガアリマシテ、私共其ノ點ハ非常ニ不滿ニ思ツテ居ルノデゴザイマスガ、何ト申シマシテモ國家ガ是カラ進ンデ鑛業ヲ開發スルストスレバ、特別ナ技術者ヲ養成サレテ、サウシテ、其ノ豫算ヲ政府ハ澤山取ツテ宜シイ、又吾々モ喜ンデ之ヲ協賛シテ宜シイ、サウシテ兎ニ角民間ノ需要ニ應ジテ直チニ調査ヲシ、責任アル調査報告ヲ作ラセ、此ノ山ガ有望デアルト認メタナラバ、資金ヲ出ス者ハ斯ウ云フ熱ニ動かサレテ澤山アルノデアリマスカラ、兎ニ角サウ云ツタ方面ヲ政府自體ガ作ラレルト云フコトガ、最モ今日ハ好イ機會デアルト斯ウ思フノデアリマス

ソレニ關聯致シマシテ私ハ滿洲ノ重工業ニ付テ少シ御尋シテ見タイト思フノデアリマス、内地ノ鑛山ヘ入ル技術トカ其ノ他色色ナ勞働者ト云フモノハ、此ノ頃求メテモ非常ニ少イ、良イ人ガナイ、山ガ幾ラ良クテモ人ヲ得ナカツタナラバ、其ノ山ノ開發ハ到底至難デアリマス、此ノ鑛山開發ニハ資金ト只今申シマシタ人ノ關係ガ密接ナモノデアリマスルガ、資金ヲ豐富ニ持ツテ居ル會社デハ幾ラデモ良イ技術者ヲ得ラレルノデアアルガ、資金ノ少イ會社ハ、是等ノ所謂資金ノ豐富ナ會社ガ澤山ノ技術者ヲ分外ナ待遇ヲシ、非常ナ法外ナ待遇ヲ與ヘルコトニ依ツテ良イ人ガ得ラレナイノデアリマス、其ノ意味ニ於テ私ハ滿洲重工業會社ニ付テ少シ御尋シテ見タイト思フノデアリマスルガ、滿洲國ガ今日非常ニ奮發シマシテ、所謂滿洲鑛山開發會社ト云フモノヲ御作リナリ、此ノ待遇ナンカハ、私ハ竊ニ聞キマ

スト、非常ニ驚クベキ法外ナ待遇ヲシテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ先ヅ御尋シタイコトハ、此ノ會社ハ資本金ハ幾カ一億圓トカ聞イテ居ルノデアリマス、配當ガナンデモ一割トカ八分トカ云フコトヲ承リマスガ、一體幾ラノ保證配當ヲナサツテ居リマスカ、此ノ點ヲ一寸御伺致シマス

○竹内政府委員 只今御尋ノ會社デゴザイマスガ、滿洲鑛山會社ト云フノハ滿洲重工業會社ノ子會社トシテ出來テ居リマス、ソレカラ滿洲鑛業開發會社ト云フノハ、是ハ滿洲重工業會社ノ出來ル前カラ鑛業開發ノ政府ノ一種ノ代行機關ノヤウニナツテ居リマスガ、御尋ハ滿洲鑛山會社デゴザイマスカ

○依光委員 鑛山會社デス

○竹内政府委員 鑛山會社ノ方ハ設立匆々デアリマシテ、マダ配當ハ致シテ居リマセスノデアリマス、今ノ一割ノ問題デスト、是ハ滿洲重工業會社、所謂滿業ノコトカト存ジマスガ……

○依光委員 私ノ御尋シテ居ルノハ滿洲鑛山會社ノコトデス

○竹内政府委員 滿洲鑛山會社デスカ、其ノ會社ハマダ設立サレタノガ一昨年ノ暮位デ、是ハ御承知ノコトト存ジマスガ、滿洲ニ於ケル非鐵金屬——主ニ金、銅、亞鉛、鉛ト云フヤウナ仕事ノ開發ヲヤル使命ヲ持ツテ居リマスガ、今仕事ヲ始めマシタバカリデアリマシテ、第一回ノ決算ヲ漸ク終ツタ位デ、マダ配當ハ致シテ居リマセス

○依光委員 是ハ將來ドウ云フヤウナ配當方法ヲ講ズル御豫定デゴザイマスカ

○竹内政府委員 是ハ滿洲重工業會社ノ子

會社デ、今申上ゲマシタ如ク、滿洲ニ於ケル非鐵金屬資源ノ開發ト云フヤウナ大キナ使命ヲ持ツテ居リマスカラ、現在ノ所今後ノ營業狀況ヲ豫測スルコトハ中々困難デゴザイマスガ、直營致シマスノハ金ノ鑛山、是ハ山金ノ採掘ヲヤリマス同時ニ、一部從來滿洲採金會社ガ持ツテ居リマシタ鑛區ヲ譲リ受ケマシテ、採金モヤルコトニナツテ居リマス、相當機械ナ方法デヤルコトニナツテ居リマス、且ツ此處ノ鑛區ナドモ有望ト云フコトヲ聞イテ居リマス、直營事業トシテハ此ノ金ノ採掘狀況如何ガ、會社ノ將來ヲ左右スルコトト思ヒマス、尙ホ傍系會社或ハ會社直營デ亞鉛、鉛、ソレカラ銅ト云フヤウナ事業モヤツテ居リマス、此ノ成績如何ニ依リマシテハ、茲兩三年致シマスレバ配當出來ルヤウナ情勢ニナルカト存ジマスガ、此ノ場合配當ニ付テ政府ハドウ云フ政策ヲ採ルカト云フ御意見デゴザイマスガ、此ノ會社ハ今ノ所全部滿洲重工業會社ガ株ヲ持ツテ居リマス、隨テ此ノ會社ノ配當ハ直接ニハ重工業會社ニ入ルノデアリマス、ソレデ滿洲重工業會社、所謂滿業ニ付テハ是モ御承知カト思ヒマスガ、現在滿洲國政府ガ半分株ヲ持ツテ居リマス、他ノ一半ハ其ノ後株主ノ異動ハ大分ゴザイマシタガ、所謂日本產業ノ株主ガ持ツテ居リマス、此ノ會社ガ日本產業カラ滿洲重工業ニナリマシタ際ニ、滿洲國ト當時ノ日產トノ間ノ契約ニ依リマシテ、是ハ日本政府モ承認シタモノデアリマスガ、政府以外ノ株主ニ對シテハ大體配當一割マデハ政府ノ倍ノ配當ヲ認メル、詰リ滿洲國政府ガ五分ノ場合ニハ、一般ノ株主ニハ一割ノ配當ヲスルト云フコトト、ソレカラ滿洲内ニ於ケル事業ニ

付テ、滿洲國內ニ此ノ會社ガ投下シタ資本ニ對シテ利廻リガ惡イ場合ニハ、滿洲國政府カラ補助金ヲ出ス、大體投下資本ニ對スル六分ニ當ル金額ヲ補助金トシテ出ス、但シ是ハ其ノ後利益ガ多イ場合ニハ廢スルト云フ建前ニナツテ居リマス、大體斯ウ云フコトニナツテ居リマス、少シ餘談ニナリマスガ今ノ滿洲鑛山會社ガ非常ニ成績ヲ舉ゲマシテ、立派ナ配當ガ出來ルヤウニナレバ、滿洲國トシテハ其ノ補助金ハ要ラヌコトニナルト斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○依光委員 只今御話ヲ承ツテ居リマス、大體ノ豫定デアツテ、マダ現在ハ配當モ何モノイト云フコトデアリマスガ、一體重工業ノ子會社ハ幾ツアルノデゴザイマスカ
○竹内政府委員 滿洲重工業會社ハ御承知ノ如ク滿洲ニ於ケル重工業ノ綜合的開發ト云フ使命ヲ以テ設立サレタモノデアリマシテ、自ラ仕事ヲ直營セス、大體特殊會社トシテ滿洲國ノ重工業開發ヲヤルト云フ建前ニナツテ居リマス、現在子會社ノ一番大キイノハ御承知ノヤウニ昭和要鋼所、ソレカラ滿洲炭礦會社、此ノ二ツガ最も重要ナ子會社デアリマス、其ノ他ニモ今問題ノゴザイマシタ滿洲鑛山會社デアリマス、其ノ他數ニ致シマシテ十近クノ子會社ガ既ニ出來テ居ル、一番大キナモノハ鐵ヲヤツテ居リマス昭和製鋼所ト滿洲炭礦會社、ソレカラ申シ遅レマシタガ、先般本溪湖ノ煤鐵公司ト云フ製鐵會社モ、ヤハリ此ノ滿蒙ノ投資會社ニナツテ居リマス
○依光委員 サウ致シマス、此ノ子會社ニモ配當保證ガ皆付ク譯デスカ
○竹内政府委員 子會社ニ對シテハ配當保證ハ一切ゴザイマセヌ、隨テ子會社ノ成績

ガ舉リマセヌ節ハ、先程申シマシタ如ク滿洲重工業會社ガ政府カラ補助金ヲ貰フ、サウ云フ建前デアリマス

○依光委員 私ハ能ク詳シイ事情ハ知リマセヌガ、色々向ウノ人ノ御話ヲ聞クト、滿洲鑛山會社ガ斯ウ云ツタ大キナ資本金デ、而モ非常ニ法外ナ配當保證ヲ付ケタ爲ニ、滿洲ニ於ケル民間會社ガ非常ナ打撃ヲ受ケテ居ル、ソレハ先程申上ゲマシタ通りニ人ガ欲シイノデ、斯ウ云ツタ重工業ノ子會社ガ全部非常ナ待遇方法ヲ發表シテ、之ヲ引付ケテシマフ、隨テ幾ラ仕事ヲヤラウトシテモ良イ人間、良イ技術者ハ殆ド全部斯ウ云ツタ滿洲鑛山會社ノ方ニ取ラレテシマツテ、民間ニハ殆ド經驗學識達見アル者ガヤツテ來ナイ、此ノ點ヲ非常ニ歎イテ居ツタコトヲ私ハ聞イタノデゴザイマス、隨テ滿洲國ト致シマシテモ對滿事務局ト致シマシテモ、アチラデヤツテ居ル民間ノ斯ウ云ツタ鑛業會社ニ對シテ、相當ナ補償ノ手、救済ノ手ヲ差延ベテヤルノガ至當デアラウト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ民間會社ニ對シテハ、ドウ云フヤウナ方法ヲ御執リニナツテ居リマス、此ノ點ヲ御伺致シマス
○竹内政府委員 只今ノ御質問ニ御尤モデアリマシテ、今滿洲ニ於ケル一般ノ鑛業會社所謂特殊會社デナイ鑛業會社ガ、優良ナ技術者ヲ得ルコトニ非常ニ御困難ニナツテ居ルト云フコトハ、私共モ諒解シテ居ル所デアリマス、實ハ民間會社ノミナラズ今御話ニナリマシタヤウナ特殊會社ト雖モ、現在非常ナ技術者ノ不足ニ困難ヲ致シテ居ル譯デアリマスガ、是ハ申スマデモナク非常ナ規模ヲ以テ生産力ノ擴充、鑛山ノ開發ト云フコトガ行ハレテ居ル一方、日本カラ

ノ供給ニ對シマシテハ、御承知ノ如ク學校卒業生ハ就職ノ制限ヲ受ケ——制限ト云フカ所謂就職先ノ配當ヲ行ツテ居リマス、要スルニ日本全體或ハ日滿支全體ヲ通ジテ、技術者ノ不足ト云フ關係ガアルノデスガ、私共トシテハ日本ニ對シテ出來ル限り多數ノ技術者、是モ既成ノ技術者ハ現在ノ情勢ニ於キマシテハ、内地カラ得ルト云フコトハ中々困難デアリマス、學校ノ新卒業生ヲ出來ルダケ多數制愛シテ貰ヒタイト云フ希望ヲ從來カラ持ツテ居リマス、是ハ既ニ昨年學校卒業生ノ配當制度ガ行ハレテカラ實行サレテ居リマスガ、先ヅ日本内地ト外地、ソレカラ滿洲支那、斯ウ云フ風ニ其ノ年ノ卒業生全體ノ中カラ、幾ラ滿洲ニヤルト云フコトニ付キマシテハ、企業院ヤ厚生省ガ中心ニナリマシテ決定致シマシテ、サウシテ滿洲ニ對シテハ是レ——ノ人數ヲヤルト云フコトニ致シマス、滿洲デハ滿洲國政府ガ中心ニナリマシテ、日本カラ得ラレル新卒業生ヲ、ドノ會社ニ幾ラヤルト云フ配當ヲ致シテ居ルノデアリマス、此ノ配當ヲ致スニ當リマシテハ各社毎ニ詳細ナ——現在幾人ノ技術者ヲ持ツテ居ル、本年ノ事業ヲヤルノニドレダケノ技術者ガ要ルト云フ、詳細ナ調査ノ提出ヲ命ジマシテ、能フ限り公平ニ之ヲ與ヘルト云フ風ニナツテ居リマス、又從業者ノ待遇ニ付キマシテモ、大體非常ナ好イ待遇ヲシテ、技術者ヲ或ル一會社ニ集中サセルト云フコトハ適當ナコトデハナイノデアリマシテ、待遇ニ付テモ或ル統制ヲ加ヘテ居リマスガ、結果ニ於キマシテ一番初ニ申上ゲタ如ク、配當シ得ベキ技術者ノ總數ガ如何ニモ不足シテ居リマス、自然比較的小サイ一般

ノ會社邊リニハ、配當ガ恐ラク御要求ノ半分、三分ノ一ニモナラヌト云フヤウナ結果ニナツテ居リマス、是ハ結局スル所總體ノ技術者ノ需要ニ對シテ、供給力ガ不足シテ居ルト云フ所カラ出テ居ルノデアリマス、デ、遺憾ナガラ或ル程度御辛抱ヲ願ハナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ關係ニナツテ居リマス

○依光委員 只今ノ御話ヲ承ツテモ、マダ十分デナイト思フノデアリマスガ、ドウモ民間會社ガ非常ニ人ガ足りナイデ居ルコトハ私共ノ耳ニ屢々入リマス、其ノ結果ガ結論カラ申シマシテ、所謂重工業子會社ノ方ノ待遇ガ餘リ好イノデ、是ガ爲ニ惹付ケラレル、サウ云フヤウナ非難ヲ屢々聞クノデアリマスガ、此ノ點ヲ當局ハ能ク御留意下サイマシテ、滿洲ノ產金ニ致シマシテモ、石炭、錫、鐵ニ致シマシテモ、重工業ノ子會社ノ持ツテ居ルモノ以上ニ民間ノ持ツテ居ルモノガ多イノデゴザイマス、之ヲ開發スルコトハ刻下ノ急務デアルト思フノデアリマス、ドウカ大イニ民間ノ方ニモ力ヲ入レラレテ、重工業子會社ト同ジヤウナ待遇ニマデ引上ゲテ戴ク、斯ウ云フコトヲ私ハ希望シテ止マナイノデアリマス
○竹内政府委員 只今御希望ノ點ニ御尤モデゴザイマシテ、滿洲國政府當局ニモ適當ニ傳ヘルコトニ致シマス、最後ニ御尋ノ產金ノ問題デゴザイマスガ、此ノ買上價格ハ大體日本ト同ジヤウニヤツテ居リマス、即

チ法定買入値段ハ一瓦三圓八十五錢デアリマス、ソレカラ其ノ他ニ、先般内地産金獎勵金ノ制度ヲ作りマシタガ、ヤハリアレト同ジ建前デ増産獎勵金ヲ出ス、金額ハ少シ違ツテ居ルト思ヒマスガ、大體同ジ趣旨デ産金獎勵金ノ方ハ決メテ居リマス、尙ホ一般ノ産金ニ付テハ滿洲國ト致シマシテモ、能フ限り産金額ヲ増加サセタイ、斯ウ云フ方策ヲ執ツテ居リマス

○依光委員 私ノ聴キマシタ所ニ依ルト、五十五錢ノ獎勵金ト、尙ホ前年同期ニ比シテ増産分ノモノニ對シテ三十八錢ヲ支出シテ居ル、斯ウ云フ風ニ承リマシタガ、其ノ點ニ付テ確メテ置キタイ

○竹内政府委員 今ノ數字ハ手許ニ資料ガゴザイマセヌガ、其ノ通りダト考ヘテ居リマス、若シ間違ツテ居リマシタナラバ、後程訂正致シマス

○依光委員 サウ致シマス、斯ウ云フ結果ニナルデアラウト思フノデアリマスルガ、重工業關係ノ會社ハ、之ニ對シテヤハリ同ジヤウナ配當、保證ヲ受ケテ居ルデノアリマスカラ、重工業會社ノ分ノ一瓦ト云フモノハ、一般會社カラ見マスルト非常ニ大キナ補償ヲ受ケテ居ル結果ニナリハシマセヌカ、此ノ點ハ如何デゴザイマスカ

○竹内政府委員 産金ノ補助トシテハ同ジ補助ガ行ツテ居ル譯デゴザイマスガ、唯滿洲礦山會社、先程御話ノ滿洲重工業ノ子會社デアリ、礦山會社自體ニハ、別段特別ノ補助モ行カナイ譯デゴザイマス、結果ニ於テ、或ハ御話ノ如ク滿洲重工業會社ガ先程ノ一種ノ配當、保證ト申シマスカ、利益補給ト申シマスカ、斯ウ云フ特典ヲ與ヘラレテ居ルカラ、ソチヲ方ガ有利ニナリハセヌカ

ト云フコトモ考ヘラレマスガ、子會社デアリマス所ノ、詰リ金ノ開發ヲヤツテ居リマス滿洲礦山會社自體トシテハ、特別ノ援助ヲ受ケテ居ラス譯デアリマス、尙ホ滿洲重工業會社ノ方モ非常ニ莫大ナ配當保證トカ利益補給ハナイノデアリマス、先程申上ゲマシタ如ク、滿洲國內ニ投下シタ資本ニ對スル六分マデノ利益ノ補給、此ノ程度デアリマス

○依光委員 私ノ質問ハ大體是デ打切りマス

○櫻井委員長 次ハ川俣清音君

○川俣委員 私ハ鑛業全體ニ付テ、有エル角度カラ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、ソレハ此ノ法律ノ改正ヲ必要トサレマシタノハ、説明ニ依リマス、鑛山ノ開發ヲ期シテ以テ増産ヲ圖リタイト云フ趣旨デアラウト考ヘマス、唯此ノ程度ノ改正ニ依ツテ能ク其ノ目的ガ達成サレルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、私共多大ノ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、寧ロモット積極的ナ法制ノ完備ト、其ノ指導ト方策ヲ以テ爲サナケレバ、恐ラク解決ガ付キ得ラレナイ狀態ニアルノデハナカラウカト考ヘルノデアリマス、政府ニ於テ既ニ計畫ハオ有リデアラウト思ヒマスケレドモ、増産ニ對スル對策トシテ考ヘラレマスルノハ、所謂總テノ物資ノ増産ニ必要ナル不可缺ノ條件ガ存在スルノデアリマスケレドモ、此ノ鑛物ニ於キマシテモ、増産ニ必要ナル條件ト云フモノガ考ヘラレマス、即チ増産ノ人的要件、指導技術員、或ハ勞務者、物的要件トシテ資金、資材、而シテ之ニ政治的條件ガ加ハリ、是ガ圓滑ニ運用サレテ初メテソコニ増産ガ期シ得ラレルモノト思フノデアリマスガ、此

ノ政治的方策ト云フ點ニ付テ、先ツ御尋ヲ致シテ行キタイト思フノデアリマス、政治的ナ要件ニハ指導トカ保護トカ、或ハ獎勵監督ノ機能デアルトカ云フ問題モアリマスケレドモ、政府全體ノ建前ガ政治機構全體ガ一定ノ増産ノ出來ルヤウナ目標ニ向ツテ構成サレ、其ノ機能ガ擴大強化サレナケレバ、私ハ此ノ増産ト云フコトハ期シ得ラレナイト思フノデアリマスガ、今日鑛物ノ増産ニ關シテソレヲ希望シテ居リナガラ、日本ノ政治全體ガ果シテ鑛物ノ増産ニ必要ナル體勢ニ向ツテ居ルカドウカト云ヘバ、私ハ其ノ點ニ付テ甚ダ疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソコデ私ハ日本ノ鑛業ノ發達進展ト云フコトニ付テ、本當ニモウ一度回顧シテ見タイト思フノデアリマス、非常ニ無駄ナコトノヤウデアリマスガ、是ハモウ一度回顧ツテ見テ、日本ノ鑛業ニ對スル再出發ヲ要スル時機デハナカラウカト私ハ考ヘルノデアリマス、我ガ日本ノ鑛業ノ發達進云フモノハ、相當古クカラノモノデアリマシテ、之ニ付テハ諄ク申上ゲルコトノ必要ハナイノデアリマスガ、即チ元明天皇和銅年間カラ始マツテ居ル、ソシテ此ノ和銅年間ニ出來タノガ和銅開寶ト云フ一文錢デスカ、アレガ抑日本ノ貨幣ノ初リデアル、隨テ其ノ頃カラ銅ノ產出ガアリ、隨テソレ以來歷代ノ朝廷ニ於カレテハ引續キ錢ヲ作ルト云フ鑄錢ノコトニ相當ノ考慮ヲ拂ハレテ居ルノデアリマス、隨テ歴史ニ依リマシレバ和銅年間ノ後ニ於キマシテモ、元明天皇ノ時デアリマスケレドモ、賞ヲ懸ケラレタリ或ハ官位ヲ以テ鑛業開發ノ功勞者ヲ優遇スル等、官位ヲ以テ優遇スルノ途ヲ拓キ、官吏トシテ引上ゲル、斯ウ云フヤウナ優遇

方法ヲ以テ鑛業開發ノ途ヲ拓イテ居ラレルノデアリマス、所謂文化ノ發展ト伴ヒマシテ、當然貨幣ト云フモノガ國民經濟ノ上ニ及ボス影響ガ大キクナツテ參リマス同時ニ、支那トノ海外貿易ガ盛ニナリマシタニ付キマシテ、日本カラモ相當ノ金塊銀塊粗銅ト云フモノガ勿論流レテ行ツテ居リマス、其ノ間ニ於テ海外貿易ノ發展ニ伴ヒマシテ、宋錢、元錢、明錢ト云フヤウナモノガ日本ニ流レテ入ツテ來ル、日本カラハ金塊、銀塊、粗銅ガ流レテ行キマシテ、國民經濟ガ相當逼迫ヲ致シテ居リマス時ニ於キマシテハ、鑛業ノ開發ト云フコトガ非常ニ考ヘラレテ參リ、隨テ此ノ鑛業ノ衰微致シ開發ノ遲レマシタ時ニ於キマシテハ、過去古代ノ日本モヤハリ相當ノ危機ニ陥ツテ居ル、一方ニ於テハ「インフレ」ガ起ル、隨テ此ノ「インフレ」對策ガ考ヘラレル、サウ云フコトモ相當考慮サレテ居ツタノデアリマス、又御承知ノ通り戰國時代ニ於キマシテハ、各藩ノ勇者が戰國ニ於テ地位ヲ爭フ其ノ爭ハ、鑛山ノ爭奪戰ヲ行ツタノデアツタトモ考ヘラレル、隨テ今日開カレテ居リマスル所ノ鑛山ト云フモノモ既ニ奈良朝、平安朝、鎌倉時代ヲ經テ、戰國時代ニ至ツテ相當ノ開發ヲサレテ來テ居ルノデアリマス、私ハ今一ツ「ソレヲ申上ゲルト非常ニ參考ニナルト思ヒマス」ノデ申上ゲマスケレドモ、備中ノ吉岡鑛山、石見ノ銅丸鑛山、攝津ノ多田鑛山、是ハ有名ナ豐臣秀吉ノ驅逐間歩鑛山ト謂ハレタ所デアル、是ガ秀吉ガ天下ヲ取ル所ノ臺所デアツタト言ハレルヤウナ馬章ヲ許シタ鑛道ノアル所謂間歩鑛道ノアツタ多田銀山デアリ、因幡ノ蒲生鑛山、或ハ豐後ノ尾平鑛山、筑後ノ三池鑛山、或ハ越中ノ

黑部硫黃山、日本モ硫黃ハ相當昔カラ出テ居リマス、所謂足利義滿ガ唐ヘ使ヲ遣シマシテ、物ヲ送ツタ中ニモ硫黃ヲ送ツテ居ル位デ、硫黃モ相當出鑛シテ居ル、又飛驒ノ神岡鑛山或ハ茂住銀山、或ハ美濃ノ國ノ畑佐銀山、或ハ播磨ノ川上銅山、常陸ノ赤澤銀山、ソレカラ陸中ノ白根銀山、是ハ今三菱デ採鑛シテ居リマス所ノ尾去澤鑛山、伊豫ノ別子銅山、或ハ伊豆ノ繩地金山、今日相當開發サレテ居リマス、鑛山ノ最初ハ既ニ徳川時代以前ニ開發サレテ居ルノデアリマス、今ノ法制ガ出來テ新シク開發サレテ居ルヤウナ鑛山ハ、勿論アリマスルケレドモ、甚ダ少イ、ソレデハ一體ドノ位過去日本デ金銀銅ガ出來タモノカト云フコトヲ相當歴史ヲ辿ツテ以テ調ベテ見マス、是ハ餘リナイノデアリマスルケレドモ、漸ク探シテ見マスルト、本朝實貨用事略ニ新井白石ガ研究シタノヲ載セテ居リマス、是ハ新井白石ガ丁度「インフレ」ニ惱マサレマシテ「デフレ」政策ヲ執ラントシタ時ニ、ドレ位程度ノ海外流出ガアルカト云フコトヲ調ベタノデアリマス、ソレニ度時世ガ似テ居ル、ソレデ是ハ僅カノ年數デアリマスルケレドモ、享保年間カラ寶永年間六十餘年ノ間ニ長崎カラ海外ニ金ノ流出ガアルツタ、是ガ二百三十九万七千六百兩デアリマス、相當ナ金デアリマス、同年間銀ニシテ三十七万四千二百九十貫、寛文三年カラ寶永五年ノ間約四十六年間ニ流出サレマシタ銅額ガ一億一千四百四十九万八千七百斤、夥シイ數字デアリマス、ヤハリ此ノ位產出サレテ居ル、是ガ明ノ金ト日本ノモノガ精鍊方法ニ於テ缺ケル所ガアリマシタ爲ニ相當ノ流出ヲ致シ、貿易關係ニ於キマ

シテ日本カラハ金塊ヲ持出、銀塊ヲ持出、粗銅ヲ持ツテ行ツテ向フカラ普通ノ金デ取ルト云フコトデ「バランス」ノ取レナイ流出ヲ致シタノデアリマセウケレドモ、其ノ結果所謂惡性「インフレ」ガ起リマシテ、「デフレ」ヤラナケレバナラスヤウナ狀態ニ立到ツテ居ルノデアリマスガ、隨テ斯ウ云フ過去ノ歴史ヲ考ヘテ見マス、決シテ無策デ鑛石ガ出テ來タノデアリマセヌ、ヤハリ其ノ中デ政治上ノ危機ヲ孕シ居ツタノヲ打開シタノガ、私本會議デモ申述ベマシタヤウニ豊臣秀吉ノ時代デアリマス、斯ウ云フ歴史ヲ考ヘテ見テ、單ニ其ノ法律ノ末節ダケヲ直サウト云フヤウナ考ヲ持タナイデ、モット根本的ニ一ツ日本ノ鑛業開發ト云フモノヲ圖ツテ貫フ所ノ意思ヲ以テ御掛リニナラナケレバ駄目デハナイカト云フコトヲ私ハ第一ニ御尋シタイと思ヒマス

○小金政府委員 洵ニ御尤デアリマシテ、此ノ改正法律案ノ中ニ盛ラレテ居リマスル改正條項ダケ決シテ満足スベキモノデナイコトハ御説ノ通りデアリマス、唯只今御述ニナリマシタヤウニ鑛山ノ基本的指導精神、之ニ則ツテ如何ナル根本的改正ヲ行ヒ、又施設ヲ行フカト云フコトニ付キマシテハ、尙ホ相當ナ調査研究ニ日時ヲ要スルノデアリマス、斯ウ云フ際ニ調査々々デ何ニモシナイト云フコトモ、是亦許サレナイノデアリマシテ、出來ルダケ速ニ出來ルダケ效果的ナ改正ヲ行ヒタイ、斯ウ云フ趣旨カラ出發致シマシテ鑛業法改正調査委員會ノ議ニ付セラレマシテ、其ノ答申ヲ骨子トシテ此ノ改正ヲ致サレル次第デアリマス、根本的ニモウ少シ突進シテ眞ノ地下資源開發ノ指導精神ヲ更ニ磨イテ、ソレヲ鑛業法ニ盛ル

ト云フコトニ付キマシテハ十分考慮スベキ御意見トシテ承リタイト存ジマス
○川俣委員 私ハモット詳シク申上ゲタイト思ヒマスルケレドモ、資料ガ出テ參リマセヌデ、何レ秘密會ノ時ニ御尋致シタイト思フノデアリマス、銅其ノ他ノ軍需品ノ資材ノ窮迫ハ相當ナ程度ニマデ危機ニ立至ツテ居ルト想像サレルノデアリマス、隨テ其ノ輸入關係或ハ生産量關係ハ秘密ヲ要スルコトデハアリマスガ、是ハ相當重大ナコトダト考ヘマス、ソレ程重大ナ時期ニ至ツテ居リナガラ、ソレニ對スル對策ガマダ十分デナイト云フヤウナコトニナリマス、國家全體ノ建前カラ非常ナ不安ヲ感ズルノデアリマス、此ノ點ニ付テハ何レ秘密會ヲ求メマシテ御尋致シタイト思ヒマスルケレドモ、斯ル狀態ニ立至ツテ居リマスノニ、法文ノ末節デ以テ僅カナガラム増産ヲ圖ラウト云フヤウナコトハ中々容易ナコトデハナイ、何時ノ場合デモ、必要ニ迫ラレタル制度ノ改正ト云フモノデアツテモ、尙當ニ反對ヤ苦情ノ多イモノデアル、隨テ餘程ノ決心ト細心ノ注意ヲ以テ此ノ改正ニ當ラナケレバナラヌト思フノデアリマスルケレドモ、先ヅ試掘鑛區四年ニ改正ノ點ニ付テ考ヘテ見タイと思フノデアリマス、是ハ本法改正ノ要點デアリマス、之ニ對スル反對ト賛成ガ色々アルヤウデアリマス、併シナガラ反對ノ中ニモ意味ノナイ反對モアリマスシ、肯ケル反對モアリマス、此ノ反對ノ急所ハ何處デアルカト云ヘバ、恐ラク此ノ點ニアルノデハナイカト私ハ思ヒマス、即チ今マデ試掘鑛區期限ハ二箇年、日本坑法時代ハ一箇年、ソレガ二年ニナリ、二年ガ永續的性質ヲ持ツタモノデアルト致シタノニ、ソレガ四箇年期限

ニ限定サレルコトニナツテ何處ニ弊害ガアルカト云フト、ソレハ色々感情上ノ問題モアリマセウケレドモ、増産ト云フ點カラ見ルト、何處ニ缺點ガアルカト云ヘバ、所謂試掘權ガ賣買サレル、取引サレルト云フ所ニ、利慾ヲ追求スルト云フ所ニ、ソレガ鑛山ヲ發見シ、鑛脈ヲ發見シ、鑛床ヲ發見スルト云フ力ヲ生ムノデアリマス
〔委員長退席、澤田委員長代理著席〕
別言スレバソレガ高ク賣買サレル、ソレデ資産モ作ラレルト云フ譯デ、發見者モ出テ來ルシ、或ハ開發者モ出テ參リマス、是ガ四年期限ト云フコトニナリマスレバ、ドウモ高ク賣レサウモナイダラウト云フヤウナ氣分ガ出テ參ル、サウスレバ發見熱ヲ開發熱ガ幾分薄ラゲ、此ノ點ヨリ外ニ反對ノ理由ハナイト思フ、隨テ此ノ反對ヲ十分緩和出來ルヤウナ方針ヲ執レバ此ノ案ハ非常ニ必要ナモノデアルト思フ、何故ナラバ今日ノ弊害ハ何處ニアルカト言ヘバ、徒ニ山師ト云フ形ニ於テ鑛山ガ開發サレテ居ル、日本ノ最初ノ鑛山心得、鑛業條例ノ時代カラ、鑛山ニ理解アル者ノミニ鑛山ヲ開發サセルト云フ建前ヲ執ツテ居ツタ、如何ニ金ヲ持ツテ居ツテモ、鑛山ニ對スル理解ガナケレバ鑛山事業ハヤラセナイト云フ建前ヲ執ツテ居ツタ、隨テ所謂山師ト云フヤウナ者ガ今日相當ニ金融界——財界社會ニ對シマシテ、色々害毒ヲ流シテ居リマス、是ハ鑛石ヲ掘出スト云フコトヨリモ、鑛山ニ知識ノナイ者ノ金ヲ狙ツテ居ル、鑛山界デ謂フ岡掘リ、人ノ懷ノ中ヲ掘ルト云フ鑛山師ガナイデアリマセヌ、今日出來テ居ル鑛山會社ノ中ニハ、鑛山ヲ經營致スヨリモ人ノ懷ヲ掘ツテ居ルモノモ相當多イノデアリマス、隨

テ國家ノ最モ必要トシテ居ル地下寶庫ヲ開發スルコト云フコトヨリモ、單ナル利益ヲ得タイト云フコトデ所謂インチキナ會社ヲ作ツテ、試掘權ヲ賣買シテ、寧ロ社會一般ニ惡毒ヲ流シテ居ルト云フ點ヲ矯正スル上カラモ、私ハ四年期限ニスルコトハ確ニ必要ナコト考ヘテ居リマス、併シナガラ一方ニ於テソレ等ノ發見者、開發者ノ熱意ヲ阻害スル點モアリマスカラ、其ノ熱意ヲ阻害スル點如何ニシテ矯正シ、指導獎勵スルカト云フコトヲ考ヘナイデ、唯四年期限ニスルナラバ鑛山ハ開發サレ、採掘サレルト云フヤウナ考ダケデ四年期限ニナサレバ、私ハ是ハ失敗デアルト思フ、ソコデソレニ對スル必要ヲ開發、必要ヲ發見ト云フモノニドレダケノ準備ヲシツツ四年期限ニスルカ、其ノ點ガ缺ケテ居レバ、私ハ四年期限ニシタ意味ガナイト思フ、此ノ點ヲ御尋致シマス

○小金政府委員 試掘權制度ヲ改メマシテ、漫然ト四年トシタノデハゴザイマセヌ、試掘權ハ本來ノ試掘ノ制度ニ立歸ラシムル、此ノ本來ノ趣旨ニ立歸ラシムルコトニ依リマシテ、只今川俣サンが大體仰シヤツタヤウナ現象等モ現ハレルコトト信ジテ居ルデアリマス、唯是ト並行シテ何等カノ施設ヲ考ヘナイナラバ、ソレハ失敗ニ終ルノデハナカラウカト云フ御説デアリマスガ、洵ニ御尤モデアリマシテ、之ヲ四年ニ打切ルト云フ制度ヲ立テマスルト同時ニ、此ノ前モ申上ゲタト存ジマスガ、有ユル角度カラ鑛山開發ニ付テ國家自身又ハ國家的ナ施設ヲ動員シテ鑛山ノ開發ニ協力セシメル、サウシテ眞ニ鑛山ノ開發ニ當ラントスル熱意アル人ニ對シテハ國家及ビ國家的機關ガ協力申上ゲル、斯ウ云フ制度モ今マデ略、其ノ緒ニ就イテ參リマシタノデ、ココデ試掘權制度ヲ改メマシテモ宜シイデアラウ、斯ウ云フ見透シヲ付ケテ居リマス、尙ホ只今ノ施設ダケデハ不十分デアリマスノデ、今後モ國家施設及ビ國家的ノ施設ノ擴充整備ヲ圖ル積リデアリマス、四年ニ試掘權ヲ制限サレマスルト、賣買ト云フヤウナ方面ハ確ニ窮屈ニナル部分モアルト存ジマス、隨テ發見シタ人ガ自分デ眞ニ其ノ試掘ヲ實行スルト云フヤウナ決意ヲ持タルナラバ、有ユル國家機關、或ハ國家的機關ガ之ニ協力シテ、サウシテ發見者自ラニ開發スルヤウナ機會ヲ作ル、是ガ吾々ノ根本的ナ指導方針デゴザイマス、此ノ試掘權制度ヲ改メマシテ、四年期限一應打切り、是ハ取上ルヤウニ解サレテ居リマスガ、取上ルノデハナクシテ、四年期間ニ鑛業ノ價值アリヤ否ヲ判斷シテ欲シイ、サモナケレバ四年期間デ其ノ鑛業ノ價值アリヤ否ヲ試掘スル獨占權ヲ失フゾ、斯ウ云フ意味デアリマス、此ノ試掘權制度ヲ改正スルコトニ依リマシテ、是ハモウ川俣サン十分御承知ノコトデアツテ、此處デ申上ゲル必要ハナイト思ヒマスガ、試掘トカ採掘ヲ促進スル、ソレカラ此ノ試掘又ハ採掘ヲ促進スルコトハ日本全體ノ鑛山開發カラ見マスルト、基礎的ナ資料ヲ早く蒐集スルト云フ結果ヲ招來スルノデアリマス、是等ノ基礎的資料ガ缺ケテ居リマシテハ、重要鑛物増産法ノ活用ナドモ思フヤウニ參リマセズ、殊ニ國家的ナ計畫乃至ハ鑛物ノ増産ニ關スル國家的施設ハ實行ガ困難ニナルト私共ハ考ヘルデアリマス、又個人的ノ立場カラ見マシテモ、一面四年期間ニ鑛業ノ價值アリヤ否ヤ

早ク判定スル資料ヲ得ナナケレバナラナイト云フコトハ、如何ニモ窮屈ナヤウニ見エタルデアリマスガ、併シナガラ四年期間ニ試掘ヲ完了若クハ終了スルナラバ、所謂假ノ權利デアアル所ノ試掘權ガ眞ノ鑛業權デアアル所ノ採掘權ニ變ヘ得ルト云フヤウナ利益モアルノデアリマス

○川俣委員 政府ノ說明ハ尤モナノデス、併シナガラ私ハ其ノ尤モナコトヲ、尤モノヤウニ實行サレナケレバナラヌト云フ點デ、モットノ御尋致シタイト思ヒマス、鑛業權ハ鑛區ニ於テ採掘シ、之ヲ取得スルノ權利デアツテ、他ニ賣買スル權利デナイト云フコトモ明瞭デアアル、或ハ唯採掘ニ適當デアルカドウカト云フコトヲ調査探鑛スルコトガ、試掘權ノ目的デアアルコトモ明瞭デアアル、其ノ明瞭ナ點ヲ、如何ニ四年期間ニ實行サセルコトガ出來ルカト云フコトガ要點ダト私ハ思フ、問題ハ其處ナシデス、ソコデ今マデノ試掘權ハ、ドウ云フモノデアアルカト申シマスレバ、其ノ四年期間ニ於テ探鑛ヲ終レト云フノデアリマスカラ、自然ソレニ對スル對策ガ變ツテ來ナケレバナラス、ケレドモ其ノ變ツテ來ル點ニ付テハ何等觸レテ居ナイ、例ヘバ鑛區稅カラ言ツテモサウデアアル、外ノ税金ト違ツテ、鑛區稅ハ前納主義ヲ採ツテ居ル、前年ニ納メル、是ガ永續的ナモノデアレバ、前納主義デモ宜シウゴザイマセウ、併シナガラ四年期間デ切ラレルコトニナルト當然是ハ考ヘ直サナケレバナラス點デアアル、サウ云フコトハ何等考慮ヲ拂ツテ居ナイ、又今マデハ試掘權ト云フモノハ本來ノ目的ガアツタノデアアルカラ、徒ニ繼續サレテハ困ルト云フ所カラ、試掘權ニ抵當權ヲ設ケテナカツタセウケレド

モ、四年期間ト云フコトニナレバ、金融ヲ圖ル途カラ云ツテモ、抵當權ヲ認メルト云フコトモ當然考ヘナケレバナラスコトデアアル、試掘權内ニ於テ忠實ニ探鑛セシムルト云フコトデアリマスレバ、當然ソレニ抵當權ヲ設定サシテ、サウシテ金融ノ途ヲ開イテヤルダケノ努力ヲ拂ハナケレバナラス、唯四年期間ニ探鑛セヨ、四年期間ニ採掘ニ適スルヤ否ヲ十分調査セヨ、ソレガ必要ナシデ、斯ウ言ハレテモ、ソレニ付伴フダケノモノガ出來テ居ナケレバナラス、私ハ四年期間ヲ、或ハ三ヶ年間デモ宜イト思ツテ居リマス、併シソレニ付伴フダケノモノヲ附ケテヤラナイデ、唯漫然トシテ居ツタノデハ、所期ノ目的ガ達成サレナイト思フ、寧ロ鑛區稅ナドニ付テモ是ハ半減シテ宜イ、改正前ナラ相當永續性ガアルカラ高クテモ宜イガ、今度ハ四年期間トニ打切ラレルヤウナ形ニナツテ値ガ下ツタヤウナモノデス、税金ナドモ其ノ價值カラ云ツテモ當然下ツテモ宜イノデハナイカト考ヘル、サウ云フコトハ別ト致シマシテモ、今日ノ重要鑛物開發ノ目的カラ云ツテ、鑛區稅ヲ先取リシナケレバヤラセナイト云フヤウナコトデハ、開發ノ目的デアアルカ、税金ヲ取ルコトガ目的デアアルカト云フヤウナコトニ付テノ意思ガ明瞭デナイト思フ、此ノ點ニ付テ御意見ヲ伺ヒマス

○小金政府委員 鑛區稅ノ制度ニ付キマシテハ、試掘權デアリマシテモ、土地所有權等カラ全然離レマシテ、試掘ヲ爲スト云フ、試掘行爲ヲ内容トスル權利ノ働キガ獨占權的デアリマスノデ、只今ノ鑛區稅ノ制度デモ已ムヲ得ナイガラウ、斯ウ云フ風ニ私共ハ考ヘマスガ、尙ホ今川俣サンガ示唆セラ

ル所ニ付キマシテハ、十分研究致シタイ
ト存ジマス、ソレカラ又試掘權ヲ四年間ニ
打切ルト云フナラバ、其ノ試掘ヲ唯早ク濟
マセルト云フヤウナコトデハ不十分デアツ
テ、何等カ早ク出來ルヤウナ方法ヲ講ズベ
キデハナカラウカ、其ノ一例トシテハ、例
ヘバ抵當權ヲ設定セシメルトカ、其ノ他金
融ノ途ヲ開イテヤルト云フコトモ考ヘタカ
ト云フヤウナ趣旨ノ御質問デアリマスガ洵
ニ御尤モデアリマス、私共モ試掘權ヲ抵當
權ノ目的トスルコトノ可否ニ付キマシテ、
一應ノ調査ヲシタノデアリマスガ、併シナ
ガラ試掘權ハ鑛物ガ有ルカ無イカヲ試掘ス
ルコトヲ内容ト致シマスノデ、之ニ抵當權
ヲ設定セシムルト云フヤウナ方法ヲ講ジマ
スト、中々弊害モ生ズルノデアリマス、殊
ニ一般金融ノ此ノ方面ニ認メルコトニナリ
マス、相當ナ混亂モ來ス虞ガアリハシナ
イカ、併シナガラ是亦見方ニ依リマシテハ、
多少ノ混亂ガアツテモ、斯ウ云フ日本ガ直
面シテ居ル、又將來モ相當續クデアラウ所
ノ此ノ時局ヲ乘切リマス爲ニ、其ノ程度
ノコトハ思切ツテヤツタラドウカト云フ御
説モアルコトト存ジマス、ソレモ御尤モデ
アリマスガ、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマシ
テ、色々御小言ガ出テ居ルノデアリマスガ、
兎ニ角日本産金振興株式會社トカ、或ハ帝
國鑛業開發株式會社トカ云フヤウナモノ
ヲ、モツト活動範圍ヲ擴メマシテ、只今川
俣サシノ御指摘ニナリマシタヤウナ方面カ
ラ、試掘ノ完了ニ付キマシテ協力致サセタ
イト云フ風ニ考ヘテ居リマス、鑛山ノ開發
ノ爲ニ設ケテ戴キマシタ只今ノ兩會社ノ活
動ニ付キマシテハ、兎角ノ御批判ハアルカ
ト存ジマスガ、是ハ何ト云ツテモマダ慣レ

テ居リマセヌノデ、今後出來ルダケ此ノ方
面ニ協力サセタイト云フ、指導方針デ進ミ
タイト存ジマス

○川俣委員 試掘權ニ抵當權設定ノ議論
ハ——普通ノ採掘權ニ付テハ、十七條ニ於テ
當然認メラレテ居ルノデアリマスガ、試掘
權ニハ抵當權ノ設定ハ認メテ居リマセヌケ
レドモ、是ハ法律の擁護ガ無イダケデアツ
テ、世ノ中ニハ實際是ガ行ハレテ居ルノデ
アリマス、寧ろソレガ無イノニ行ハレテ居
ル所ニ弊害ガアルノデアツテ、四年ト云フ
工合ニ試掘權ノ年限ガ規定サレタノデア
カラ、寧ろ明文化スル方ガ弊害ガ少イデハ
ナカラウカト私ハ考ヘル、炭礦ニ於ケル斤
先掘ノ如キハ、是ハモウ鑛山監督局デ自然
ニ御認メニナツテ居ルコトデ、實在シテ居
ル、是ナドニ付テモ十七條ノ法文カラ見マ
シテ出來ナイコトニナツテ居ル、是ハ私ガ
論ズルマデモナク、一般ニ使用貸借、及ビ
質貸借ノ目的トナルコトガ出來ナイカラ、
是ハ問題ハナイ、併シナガラ實際ハ岩坑地
方ニ於テハ行ハレテ居ル、契約ハ無効デア
ル、ソコニ寧ろ今日デハ弊害ヲ生シテ居ル、
石炭ノ闇取引、或ハサウ云フ石炭需給ノ窮
迫シタ事態カラ、寧ろサウ云フコトハ惡イ
結果ヲ生シ、鑛業ノ完全ナル所謂正シキ發
展ヨリモ、正シカラザル弊害ヲ生ミツツア
ルノデハナイカ、寧ろ此ノ際十七條ヲ適當ニ
改正サレマシテ、監督ノ圈内ニ置ク方ガ正
當ナル發達ヲ遂ゲルモノデハナカラウカト
考ヘルノデアリマス、モウ一應此ノ點ヲ御
答辯願ヒタイト思ヒマス

ニ法制化スルカト云フヤウナ問題ニ付キマ
シテハ、マダ十分ナ調査ガ出來タトハ申上
ゲラレナカウツノデ、今回ノ改正案ニハ是
ハ織込シデナカウツノデアリマスガ、私共
鑛産行政ニ關係スル者トシテハ、十分研究
ヲ續ケテ參リタイト存ジマス

○川俣委員 尙ホ御尋致シタイト思ヒマス
ガ、四年ニナリマス爲ニ起ル弊害ガモウ一ツ
私ハ考ヘラレル、此ノ點ヲヤハリ相當今カ
ラ考慮サレテ、細心ノ注意ヲ拂ツテ、其ノ
弊害ガ起ラザルヤウニ考ヘナケレバ、ドウ
シテモ目的ガ達セラレナイト思フカラ、私
ハ此ノ點ヲ御尋致シタイト思ヒマス、試掘
權ハ、是ハ私ガ説明スルマデモナイノデア
リマスガ、試掘權者ノ負ハサレテ居ル義務
ハ、試掘設計書、採掘權者ハ採掘施業案ト
云フモノヲ以テ採掘ヲシ、或ハ試掘スルノ
デアリマスケレドモ、四年期限ト云フコト
ニナリマス、或ル一定ノ計畫ヲ立デマシ
テ、内容ノ適當デアアルカドウカト云フコト
ハ別問題ニシテ、形式上ノ書類ガ出來上リマ
シテ、採掘願ヲスルト、恐ラク採掘ヲ許可
サレルデアラウト云フコトハ——大體吟味
サレルデアリマセウケレドモ、兎モ角モ採
掘出來ルヤウニナルト世間デハ見テ居ル、
隨テサウ云フ試掘カラ採掘ニドシ——鰻上
リスルモノガ出テ來マス、鑛區ヲ失フコト
ガ恐ロシイ爲ニ、採掘權者ガ相當多クナル、
サウスルト今マデノ採掘權ト新シク鰻上
リシタ採掘權トハ自ラ實質ガ違フノデアリマ
ス、本來ノ採掘權ト云フモノハ、施業案ヲ持
ツターツノ採掘事業ヲ行フ爲ニ必要ナ實體
ト機能ヲ有シテ居ル所ノ採掘權デアル、今
度ハ保護鑛區或ハ豫備鑛區ト稱セラレル試
掘權カラ上ツタ所ノ、採掘ノ適當、不適當

ハ別ニシテ、書類上ハ適當ニ持ヘルノデア
リマセウケレドモ、内容ノ伴ハナイ所ノ採
掘權ガ生レテ來ル、サウ致シマスレバ、施
業案ヲ持ツタ採掘開發ニ必要ナル所ノ採掘
權ト、所謂保護鑛區の採掘權、豫備鑛區の
採掘權トハ自ラ異ルノデアリマスケレドモ、
之ヲ一樣ニ取扱フト致シマスレバ、私ハ施
業案ニ對スル監督ニ付テ鑛山局或ハ商工省
ガ万全ヲ期シ得ラレナイ處ガアルノデハナ
カラウカト考ヘルノデアリマス、之ニ對ス
ル御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○小金政府委員 大變實際ニ即シマシテノ
御尋デアリマスガ、確ニ或ル意味ニ於テ從
來ノ採掘權ト同ジヤウナ内容ヲ伴ハナイ採
掘ノ出願ガ殖エルカト存ジマス、ソコデ是
ハ本會議ニ於テ言明ニモナラレタコトト存
ジマスガ、保護鑛區トカ豫備鑛區ト云フモ
ノハ、是ハ鑛業ノ計畫の開發ヲ爲ス爲ニハ
ドウシテモ必要デアリマスノデ、此ノ點ニ
餘リ窮屈ナコトヲサセナイト云フコトハ、是
ハ川俣君モ十分實情カラ御承知ノコトデア
ルト存ジマス、ソコデ、只今施業案其ノ他
ノ取締ヲ嚴シナイト弊害ガ起ルト云フ御
言葉ハ御尤モデアリマシテ、今回ノ改正案
ニ於キマシテモ、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマ
シテ、施業案ハ認可制度ニ致シタノデアリ
マス、從來トデモ、届出デアリマスガ、
必要ガアレバ變更ノ命令ガ出來マス位デア
リマシテ、十分納得ガ行ク程度ニ此ノ施業
案ナルモノヲ鑛山監督局デハ審査致シテ居
リマス、今後モ尙ホ其ノ點ニ付キマシテハ
十分監督ヲ致シタイト存ジマス

〔澤田委員長代理退席、委員長著席〕

○川俣委員 ソレハ私ハ御尤モナコトダト
思ヒマス、所謂完全ナ採掘ヲ目的ニシタ施

○小金政府委員 御説ノヤウナ御議論モ私
共拜聴致シマシタ、併シナガラサウ云フ根
本的ナ問題トカ、或ハ現狀ニ付テ之ヲ如何

答辯願ヒタイト思ヒマス

〔澤田委員長代理退席、委員長著席〕

業案ヲ有スル探掘權ト、探掘ヲ保護スル爲ニ必要ナ探掘權ト、或ハ豫備探掘權ト、三ツガ出來ルト云フヤウナコトハ、是ハ當然ナコトダト思ヒマス、ソコデ、サウ致シマスレバ、私ハ鑛區稅ナドニ付キマシテモ、皆一樣ニ上セタ、位一級ヲ上ゲタト云フコトデ、税金ヲ取ルコトガ目的ノヤウニモ考ヘラレル、サウ云フ趣旨デナイト云フコトハ説明ヲ要シナイ、併シナガラ稅ノ方カラ行クト、サウ云フ稅ヲ求メタサニ上ゲタヤウナ形ニナルヤウナ不合理ヲ伴フノデアリマシテ、此ノ點ニ付テハ十分是ハ考慮シナケレバナラスト思ヒマスノデ、探掘鑛區稅ヲ半減スルヤウニ商工省ハ努力サレルコトガ必要デハナイカト思ヒマスケレドモ、之ニ付テノ御所見ヲ伺ヒタイ

○小金政府委員 鑛區稅ノ高ニ付キマシテハ、色々研究モ致シ、又今後モ研究致シタイト存ジマスガ、只今ノ所差當ツテ探掘鑛區ノ鑛區稅ヲ半減スルカ云フヤウナ意味ニ於ケル輕減策ハ今具體的ニハ考ヘテ居リマセス、鑛物ノ増産ヲ促進スル爲ニ、鑛業ヲ實際ニ經營サレル方面ニ付キマシテハ、他ノ例ヘバ探掘獎勵金トカ、撰鑛場トカ製鍊場ノ建設助成金、其ノ他色々ナ方法デ出來ルダケ負擔ヲ輕クシテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ今ノ所思ツテ居リマス

○川俣委員 探掘權ニ付テハサウ云フ御説明モ出來ルト思ヒマスケレドモ、試掘權ト云フノハ、先程モ御話申上ゲマシタヤウニ、又御意見ヲ承ツタヤウニ、全ク是ハ鑛山ノ所謂試掘權ト云フモノノ本質ハ、探掘ニ適スルカドウカト云フコトヲ見極メルノダト云フコトガ、是ガ表面ノ解釋デアル、併シ實情ハドウカト云フト、試掘權ト云フモノ

ヲ設定スルト云フコトハ、是ハ鑛床ヲ發見サセルト云フコトノ方ガ本當ノ目的ダト私ハ思フ、形式上ハソレハ確ニ探掘ニ適スルカドウカヲ探掘サセルノダト云フ法文ノ形式ニナルノハ當然ダト思ヒマス、併シソレガ世ノ中ニ現レタ場合ニハ何カト云ヘバ、發見シタ者ノ權利ヲ認メテヤル、是ダケデアル、隨テ寧ロ鑛區稅ト云フモノヲ安クシテヤル程發見ト云フモノハ可能ニナツテ來ル、誰ガ發見スルカト云ヘバ、現在試掘權者トナツテ居ルヤウナ人々モ發見致シマスケレドモ、寧ロ試掘權ノ蔭ニ落チタ人ノ方ガ發見者デアリマス、探掘權者トナリマス

ト、殆ド發見者デアリマセス、隨テ發見者ト云フモノヲ、モウ少シ擁護スル建前ヲ執ルナラバ、或ハ發見ト云フモノヲ寧ロ助成サセルト云フ考ヲ執リマスルナラバ、獎勵サセルト云フ建前ヲ執リマスルナラバ、私ハ試掘稅ナドト云フモノニ付テハ、半減デハナクシテ十分一位ニ引下ゲルベキデハナカラウカト思フ、一體此ノ鑛區稅トカ登錄稅其ノ他ノ税金ニ相當ナ收入ヲ得過ギテ居ルト私ハ思フ、是ハ煙草ノ專賣トカ云フ様ナ國ガ利益ヲ得ル爲ノ稅デハナイノデアリマス、併ナガラ相當ノ收益ヲ上ゲテ居ル、寧ロ其ノ收益ニ伴フダケノ獎勵施設ガ出來テ居ラナイト云フモ宜イ位デアル、然ラバ、鑛區稅ト云フヤウナモノハ、一ツノ國家ノ收益ヲ上ゲル爲デハナイ、發見ヲ希望スルノダト云フ建前カラ言ツテモ、モウ少シ私ハ鑛區稅登錄稅ニ付テ、大藏當局ニ對シテ御考慮願ハナケレバ、商工省ガサウ云フ態度ヲ執ラナケレバ、發見ヲサセテ上ゲマストカ、或ハ増産ヲ圖ルトカ云フヤウナコトハ、是ハ私ハ鑛山當局ガ思ヒ切ツテ言

ヘナイコトダト思ヒマス、大藏省ノ希望シテ居ラレルヤウナ、金及ビ銅其ノ他ノ増産ヲ期セラレル爲ニハ、寧ロ其ノ點ニ付キマシテ再考ヲ商工省ガ求メルダケノ態度デナケレバナラスト私ハ思フ、鑛山ノ鑛床ノ發見ト云フヤウナコトハ、偶然ニ出來テ行クノデハナイ、是ハ多大ノ努力ヲ拂ハナケレバナラストナルデアル、此ノ點ニ付テモウ一應承リタイ

○小金政府委員 御趣旨ハ能ク分リマシタ、今後鑛區稅、或ハ鑛業權者ノ負擔並ニ鑛山發見ノ端緒トナルベキ色々ナ施設ニ付テハ、十分考慮ヲシタイト思ヒマス

○川俣委員 之ニ附隨シテ私ハモウ一ツ鑛床發見ニ關スル點カラ改正ヲ要望シ、相當ノ考慮ヲ求メタイノハ、所謂九十四條ノ盜鑛ニ關スル規定デス「鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ掘採シタル者又ハ詐僞ノ所爲ヲ以テ鑛業權ヲ得タル者ハ二年以下ノ重懲罰又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス」此ノ後ノ方ノ「詐僞ノ所爲ヲ以テ鑛業權ヲ得タル者」ハ私ハ論ジマセス、鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ採取シタル者ヲ罰金ニ處スル、或ハ二年以下ノ禁錮ニ處スルト云フ解釋ニ付テデアリマス、最近鑛山方面ニ於キマシテ或ハ鑛山監督局邊リデモ、鑛物ヲ發見シタ者ニハ獎勵金ヲヤルト云フヤウナ建前ヲ以テ、昔ノ舊幕時代ニ採ラレタヤウナ主旨ノ「ボスター」ヲ相當掲ゲテ居ラレマス、是ハ鑛業權ガナクテ發見ヲスルノデス、最初ニ發見ヲスル人ハ、大體鑛業權ガナイ人デス、サウシテ鑛床ヲ發見シタリ露頭ヲ發見シテ試掘權ノ登錄ヲ申請シ又ハ探掘權ノ登錄ヲ申請スルノデアリマス、隨テ鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ採取シタル者ヲ罰金ニ處スルト云フコ

トニナツテ居リマスカラ、鑛業ニ對スル知識ノナイ所ノ司法官吏ナドハ、滅茶苦茶ニ之ヲ處罰スル、危クテ山ヘ入ツテ歩ケナイト云フヤウナコトスラアル、一方ニ於テ探掘ヲ獎勵シナガラ、一方ニ於テハ處罰ノ規定ヲ置イテ居ルヤウデハ、其ノ目的ハ達成シナイト思フ、是ハ昔カラ鑛業界ノ道德ト致シテ居ル所ノモノハ、稼行ヲ致シテ居ル山ニ入ツテ鑛石ヲ採ルト云フト、是ハ盜鑛ニナル、併シナガラ私ハ又豐臣秀吉ヲ出シマスルケレドモ、其ノ時代カラ稼行シテ居ナイ山ニ入ツテ鑛石ヲ掘出シテモ、是ハ盜鑛ニナラナイノガ、鑛業界仲間ノ道德デス、ナゼカト云フト鑛石ト云フモノヲ盜シテ損害ヲ與ヘルカ——人ノ鑛山ニ入ツテ鑛石ヲ盜シタ場合ニ、其ノ鑛山ニ損害ヲ與ヘルト云フノガ普通ノ人ノ考ヘ方チンデス、併シナガラ探掘ト云フモノニハ相當ノ費用ガ掛ル、會テ三年バカリ前ニ私ノ子分デアル鑛夫ガ私ノ家ヘヤツテ來テ、實際川俣サシ非常ニ残念ナコトガアル、自分ハ折角良イ鑛脈ノ露頭ヲ見付ケテソレヲ掘出シテ吹入レテ一ツカ一ツ半バカリ持ツテ行ツテ賣ツタ所ガ、是ガ盜鑛ダト云フコトニ依ツテ警察デ處分ヲ受ケタ、斯ウ云フコトガ今ノ世ノ中ニアルカラ鑛夫ナドヤル者ガナクナルト云フテ憤慨シテ居ツタ、是ハ私ハ尤モダト思フ、鑛夫ノ道德ニ於テハ、稼行シテ居ル山、事業ヲ營ンデ居ル山ニ入ツテ鑛石ヲ採ルト云フコトハイケナイ、併シ休シデ居ル山、試掘ノ實權ヲ棄テテ居ル山、眞ノ探掘ノ實權ヲ棄テテ居ル山、斯ウ云フ山カラハ鑛石ヲ採ツテモ罪ニナラナイト云フノガ鑛夫ノ間ノ道德デアル、何故カト云フトソレハ鑛石ノ一塊ヤ二塊盜マレテモ損害

ニナラナイ、寧ろ鑛夫ガ手掘デモシテ掘ツテ呉レテ、其ノ爲ニ非常ニ良イ鑛脈デモ發見サレタト云フコトニナレバ、結局一依ノ鑛石ヲ取ラレタ爲ニ一萬圓、二萬圓ノ價值ヲ却テ生ズルト云フヤウナ譯デアル、盜マレテ損害ヲ與ヘルナラバ竊盜ニナツテモ構ハナイケレドモ、掘ツテ呉レタコトニ依ツテ却テ鑛山價值ガ出テ來タト云フコトニナルト竊盜デナイト云フノガ鑛夫仲間ノ考ヘ方デス、隨テ鑛石ヲ取ツタカラ直グ罰金トカ、懲役トカ云フ考ヘ方ハ、鑛夫ノ考ヘ方ト合ハナイ、本當ニ探鑛ヲシヨウトスルコトト、本當ニ鑛床ヲ發見シヨウトスルコトト、此ノ法律ガ合ハナイ、此ノ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒマス

○小金政府委員 實情ニ付テノ御説ヲ能ク拜聽致シマシタ、九十四條ノ第一項ノ規定ハ、要スルニ鑛業權ガナクシテ鑛物ヲ採ルト云フコトヲ罰則ヲ以テ禁止スルスウ云フ趣旨デアリマシテ、此處ニ使ツテ居ル文字ハ「鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ掘採シタル者」ト云フヤウニ掘採ト云フ文字ヲ使ツテ居リマス、鑛業法ニハ試掘掘採ヲ合メテ掘採ト云フ文字ヲ使ツテ居リマス、ソコデ此ノ掘採ト云フハ少クトモ試掘行爲程度ノモノデナケレバ、此ノ罰則ノ條項ニハ當嵌ラスモノデアルト云フ風ニ吾々ハ解釋致シテ居リマス、ソコデ只今ノ例トシテ御示ニナリマシタ場合ノ如キハ、恐ラク露頭ノ鑛物ヲ採ルト云フ程度ノモノデハナカラウカト思ハレルシ、又露頭發見ノ爲ニ採ル程度ノモノニ過ギナイノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思ハレマス、然ラバソレハハツキリ法律デ其ノ部分ニ屬スルモノハ、所謂盜掘ニアラズト書イタラドウカト云フヤウナ御

趣旨カトモ存ジマスケレドモ、ソレハ實際問題トシテ此ノ九十四條ニ「鑛業權ヲ有セスシテ鑛物ヲ掘採シタル者」ト云フ風ニ限定致シテ居リマスルノデ、此ノ中ニ只今例ヲ御舉ゲニナリマシタヤウナ部分ハ包含サレナイモノダト考ヘテ居リマス、尙ホ併シ事例トシテサウ云フヤウナコトヲ御舉ゲニナリマシタガ、是ハ成ベク九十四條ノ解釋ナドニ付キマシテモ、監督局自體トシテハ今ノ所吾々ト同様ニ解釋シテ居ルト思ヒマスガ、此ノ罰則ヲ適用スル方ノ官廳ガサウデナイナラバ、今ノヤウナ事例ガ起リマシガ之ニ付テハ一ツ何トカ吾々ノ方デモ意見ヲ疏通致シタイト存ジマス、ソレカラ殊ニ今回ノ鑛業中改正法律案ニ於キマシテ第三十一條ニ、他人ノ鑛業ニ妨害ガナイ場合ニ於キマシテハ、同ジ鑛區内デ鑛業權ガモウ一ツ設定サレルト云フ場合モ豫想致シテ居リマスノデ、川俣サンノ仰セニナツタヤウナコトハ、此ノ方面カラモ當然ノコトト存ジマスカラ、十分注意ヲ致シタイト存ジマス

○川俣委員 私ハ此ノ九十四條ノ條文ヲ直スト云フコトハ是ハ適當デハナイト思ヒマス、九十四條ノ解釋ニ付キマシテハ、私ハ今ノ局長ト同ジ見解ヲ持ツテ居リマス、同ジ見解ヲ持ツテ居リマス爲ニ、地方ノ警察官吏ニハ能ク其ノ點ヲ理解セシメタク努力致スノデアリマスケレドモ、中々此ノ點ニ付キマシテハ理解ガ十分デハナイ、檢事局ヘ送ラレテ正式裁判ヲ受ケタ上デナラバ處分サレナイカモ知レマセヌガ、其ノ間ニ於ケル問題ガアルノデアリマス、嚴正ナ裁判デアリマスルカラ裁判所ヘ行キマスレバ、恐ラク局長ト同ジヤウナ見解ニ至ルデアラ

ウト云フコトハ確信致シテ居リマス、併シソレニハ三日ナリ四日ナリ勾留ヲ受ケナケレバナラス、説教ヲ受ケナケレバナラス、サウ云フコトハ甚ダ困ルコトナノデス、其ノ點ニ付テ寧ろ司法省ト十分ナ御打合ヲナサラナケレバ露頭ノ發見ト云フコトニ付キマシテ障礙ガ起ルデアラウト云フコトヲ私ハ警告致シタイト思フノデアリマス

更ニ獎勵金ノ制度ニ付テ御尋致シタインデアリマス、今大臣ハオ居デニナリマセヌケレドモ、藤原サンハ金ヲヤレバ直グ増産ガ出來ルト云フ考ヲ持ツテ居ラレルヤウニ私ハ見受ケマスガ、私ハ獎勵金ヲ出シタカラト言ツテ必ズシモ増産ハ出來ナイト思フ、ソレハ私ガ言フカラヲカシク聞エマスケレドモ、業者ダツテサウ言ツテ居ル、業者ガドウ言ツテ居ルカト云フト、自分ノ事業ニ金ヲ寄越セバ増産スルトハツキリ言ヒマス、併シナガラ一面ソレナラバ坑夫ニ澤山金ヲヤレバ増産ニナラナイデ遊ンデ居ル、稼行率ガ下ルカラ金ヲヤツタカラト云ツテ駄目ダ、自分ノ方ニ與レレバ、ソレニ刺戟サレテ仕事ヲスル、坑夫ニハ金ヲヤツテモソレハ刺戟ニナラナイデ却テ道樂スルカラ駄目ダ、斯ウ云フ考方ヲ執ツテ居ル、是ハ私ハ矛盾シタコトダト思フ、第一産金ノ獎勵金デモサウデス、唯獎勵金ヲヤレバ増産ガ出來ルト御考ニナツテ居ルカモ知レマセヌケレドモ、産金ノ獎勵金ニ付テノ缺陷ハ私ガ説明スルマデモナク御認メダト思フ、是ハ十三年度ヲ基準ニシテ居ルカラ、十四年度ノ下半年ニ於キマシテハ幾ラカ私ハ減産スルノデハナイカト云フ危險ヲ感じテ居ル、何故カト云フト、十一、十二年、ソレカラ十三年度ニ於テ偶、一生懸命ニ増

産ニ努力シタ者ガ一番損ヲシナケレバナラスト云フヤウナ建前ニナツテ居ル、十三年ニ偶、故意ニ増産シナカツタ者、或ハ何カノ障礙ノ爲ニ豫定産鑛ガ出來ナカツタ者ガ十四年ニ増産致シマスレバ、ソレニ付テハ獎勵金ヲ交付スルト云フ建前デアル、隨テ石炭ニ對シテモ斯ウ云フ對策ヲ執リマスナラバ、私ハ幾多ノ弊害ガ生レテ來ルダラウト思フ、ドウ云フ弊害カト言ヘバ、十三年ニ例ヘバ金十「キロ」出タトスル、サウスレバ十四年モ十「キロ」出ルノガ其ノ鑛山ノ經營デアリマセウケレドモ、九「キロ」半出シタノデハ獎勵金ガ貰ヘナイカラ最初上期ニ出タ六「キロ」、或ハ五「キロ」位ハ出スケレドモ、アトノ四「キロ」乃至四「キロ」半ト云フモノハ十五年度ノ方ニ持ツテ行ツテ、十五年度ニ生産サレル九「キロ」ト合セテ、ソコデ初メテ三「キロ」半ノ獎勵金ヲ貰ヘルヤウニスレバ、其ノ方ガ利益ダト云フヤウナ計算カラ之ヲ出サナイ、サウ云フコトガ行ハレテ居リマス、ソナコトハ取調ベレバ分ルデハナイカト云ヒマスケレドモ、是ハ分ラナイ餘程ノ鑛山専門家ガオ居デニナツタツテ御分リニナラナイ、ドウシテ此處ニアル鑛脈ヲ掘ラナイ、イヤ是ハ今コナラノ方ノ探鑛ヲヤツテカラ、一定ノ計畫ヲ付ケテカラコナラニ移ル積リデアツテ、此ノ目標デアル探鑛ガ終ラヌ中ニハ手ヲ著ケラレヌト言ハレレバ、ソレ切リデス、何トモ言ヒヤウガナイデセウ、石炭デモサウデス、實ハ肚ノ中デハ十四年度、十五年度ニ増産シタイト云フ肚ヲ持ツテ居リナガラ、監督局カラ説明ヲ求メラレタ場合ニハ此ノ説明ヲ立派ニ通ル、又此ノ説明必ズシモ惡イトハ言ヘナイ、隨テサウ云フ獎勵金目標ノ増産ト

云フコトが考ヘラレル、採鑛法が考ヘラレル、採炭法が考ヘラレルト云フコトニナリマス、之ニ付テノ御意見ヲ伺ヒマス

○小金政府委員 只今鑛物ノ増産獎勵金ニ付キマシテ御意見ガアリマシタガ、特ニ金ノ増産部分ニ對スル獎勵金交付制度ニ付テ將來發生スルコトアルベキ弊害ヲ御指摘ニナリマシタ、私共モ成程御尤モト存ジマス、只今増産金買上規則ト云フモノヲ御指摘ニナツタヤウデアリマスガ、是ハ大藏省令デ昨年ノ十一月十一日ニ公布サレタヤウデアリマス、ソレト同時ニ商工省令デ産金量屈出規則ガ出テ居リマス、此ノ規則ニ依リマシテ基準ガ定ツテ、サウシテ増産金買上規則ニ依ツテ生ズル所ノ或種ノ増産部分ニ對シテ金ヲ交付サレルノデアリマスガ、要ハ只今御指摘ニナリマシタ産金量屈出規則ノ基準産金量ト云フヤウナモノノ取り方如何ニ依ツテハ、非常ナ弊害ヲ生ズルデアラウト云フコトハ、御指摘ノ通りカト存ジマス、ソコデ色々ナ事情ガアツテ昭和十三年度ノ基準産金量ト云フモノガ出來ルダラウト云フ御説ハ洵ニ御尤モデアリマス、政府ハ事變發生後特ニ力ヲ致シマシテ金ヲ増産セヨト云フコトヲ獎勵シテ有ル施設ヲシテ來タノデス、ソコデ十三年ニ偶、精ヲ出シタ人ガ大變不公平ナ取扱ヲ受ケルト云フヤウナコトモ十分考慮シマシテ今月ノ二十七日ニ産金量屈出規則ヲ改正シテ基準産金分量ニ付テハ認定ヲ加ヘ得ルト云フコトニ致シマシテ、之ニ依ツテ川俣サシノ御指摘ニナリマシタヤウナ弊害ヲ出來ルダケ除去スルト共ニ、又認定ニ基キ弊害ヲモ豫防スルト云フ方法ヲ採リタイト思ツテ居リマス、金ニ付テハ金ノ買上價格ガ新産

金、退藏金ヲ問ハズ、只今ノ所絕對ニ買上値段ヲ引上ゲナイト云フ方針デアリマスガ、新産金ニ付キマシテハ幾多ノ犠牲ヲ忍ンデ貫ツテ山ヲ掘リ、川ヲ漁ツテ新産金ヲ殖ヤシテ貫ツテデアリマスカラ、出來ルダケノ便宜ヲ大藏省ト協力シテ取計ヒタイト存ジマス

○川俣委員 私ハ業界方面カラ増産ノ障礙ニナルモノニ對スル意見モ聴キ、或ハ斯ウヤレバ増産ガ出來ルノダト云フ意見書モ見タノデアリマス、其ノ事ト先程私ノ申上ゲマシタ所謂人的資源ノ中ノ勞務者ニ關係スル部分ニ付テ御尋致シタイ、是ハ私ガ深ク説明申上ゲマセヌデモ、總テノ人々ノ諒解ヲ得ラレル點ダト思フノデアリマスガ、尙ホ地下勞働ニ對スル理解ガ各方面ニ足リナイノデハナカラウカ、又鑛山業ト勞務ノ關係ト云フモノハ、普通ノ工場ニ於ケル勞務ノ關係ト異ツテ居ル點ガアル、此ノ點ニ對スル理解ガナイデハナカラウカト私ハ考ヘタルデアリマス、其ノ一點ハドウ云フ點カト言ヘバ、先日來色々ナ石炭業者ノ方面カラノ話ニ斯ウ云フ話ガ出テ居ル、是ハ官廳方面ガ理解シナイデ困ルト云ヒマスケレドモ、私ハ此ノ點ダケハ業者ノ言フコトガ本當ダト思フ、其ノ點ハドウ云フコトカト言フト、生産費基準デ石炭ヲ買ツテ貫ツタ場合ニ云々ノ問題ノ時ニ、甲ト云フ人ガ炭山ヲ經營スル場合ト、乙ト云フ人ガ炭山ヲ經營スル場合ニ於テ生産費ガ異ル、同ジ山ヲAノ人ガヤルノトBノ人ガヤルノトデハ生産費ガ異ルト、斯ウ云フコトニ付テ官廳方面デモ理解ガ足ラナイ、世間モ理解ガ足ラナイト云フコトヲ言ツテ居ル、私ハ此ノ點ハ確ニ業者ノ言フ通りダト思フ、ナゼカト

言ヒマスナラバ、普通ノ精密工業ノ如ク、重工業ノ如ク機械ヲ運轉シテ生産ヲ舉ゲル場合デアリマスカラ、是ハ私ハ甲ノ人ガ其ノ會社ヲ運營シヤウト乙ノ人ガ其ノ會社ヲ運營シヤウト大シタ差ハナイデアラウト思ヒマスケレドモ、鑛山ノ勞働、地下勞働ノヤウナモノニ至リマスレバ、勞務關係ガ生産費ノ六、七割デアリマスカラ、勞務者ノ使用如何ニ依ツテ炭山或ハ鑛山ノ成績ガ上ツタリ下ツタリスルコトハ當然ダト思フ、隨テ勞務關係ノ工合ヨリ圓滑ナル運用ヲ期シ得ラレルナラバ、ソレハ生産費ガ下ルデアラウガ、期シ得ラレナケレバ高クナルノハ當然ダト思フ、此ノ點ハ私ハ確ニ業者ノ言フ通りダト思フ、勞務關係デアリマスカラ、是ハ人間ダツテ人ト缺ハ使ヒ様ト云フ位デ、使ヒ様ニ依ルノデアアル、隨テソレダケニ勞務關係ト云フモノハ非常ニ難シイノデアアル、又餘程注意シナケレバナラヌノデアリマス、所ガ世間ニハ普通往々ニシテ、坑夫ニ賃銀ヲヤレバ遊ンデシマツテ稼働率ガ下ルトカナントカ云フコトヲ能ク開キマス、或ハ中ニハ相當ナ業者、一流ノ業者カラ健康保險ノ賃銀ヲ支拂フ爲ニ、アレハ止メナケレバイカヌ、サウデナケレバ稼働率ガ下ルト云フヤウナ意見ガ出テ居リマス、之ニ付テ先刻モ私ハ或ル會合デ斯ウ云フコトヲ露骨ニ聽カサレマシタ、健康保險法ヲ廢メテ貫ハナケレバ石炭ガ出テ來ナイ、斯ウ云フ露骨ナコトヲ言フ人ガアル、何故カト聞クト、病氣デ休ンデモ十八日貫ヘルノダカラ、坑夫ガ出テ働カナクナツテ困ツタ、是ハ廢メテ貫ハナケレバナラヌト云フ、ソコデ私ハ健康保險法デ休メバ十八日分給料ヲ呉レル

ト云フコトデアリマスガ、ソレハ珍ラシイ山デアリマスカラ、少シアナタノ山ヘ行ツテ、若シソレ以下ノ人ガアレバ、私ハ十八日貫ヘル鑛山ダト云ツテ宣傳スルカラ、本當ニ十八日貫ヘルノカドウカト云ツタラ、其ノ會社ノ下ノ人ガ、イヤサウ云フ譯デハアリマセヌ、實際ハサウハ出シテ居リマセヌ、ダカラ世間ニ宣傳スルコトハ止メテ呉レト云フ、世間ニハ健康保險デ十八日出テ居ルト云ヒマスケレドモ、實際ハ其ノ通り拂ツテ居ナイ、斯ノ如ク勞務關係ト云フモノニ付テノ考ヘ方ト云フモノヲ今マデノ業者ガ頭ヲ變ヘテ行カナケレバ、私ハ石炭ニ於テモ其ノ他ノ鑛物ニ於テモ出テ參ラスト思フ、昔ハ能ク斯ウ言ツタモノデス、昔ハ坑夫ハ贅澤ダト云ハレテ居ツタ、私ハ贅澤スル位ナ坑夫ガ居ナケレバ採鑛ナドハ出來ルモノデハナイト思フ、能ク非難サレタ、坑夫ノ長屋ヘ行ツテ見ルト筆筒ガアル、鏡臺ガアルト云ツテ、中學校ヲ出タ事務員級カラ能ク非難ヲ受ケタモノデス、私ハ斯ウ言ツタ、筆筒ヲ買ツタリ茶筆筒ヲ買ツタリ或ハ長火鉢ヲ買ツタリ、或ハ妾見ヲ買ツタリ坑夫ハ結構ダト云ハナケレバナラヌ、何故カト云ヘバ品物ガ多ケレバ多イ程其ノ山ニ居著クノデス、吾々ノ山デハ冬ハ勞働爭議ハ起サナカツタ、漬物ヲ漬ケテシマツテ、漬物ガナクナラナケレバ勞働爭議ガ起ラナイ、漬物ガナクナツテ、春ニナツテ、何處ノ山ヘデモ荷物ヲ持ツテ行ケルヤウニナツテカラ勞働爭議ガ起ツタ、漬物ヲ持テ荷物ヲ持ツテ行カナケレバナラヌヤウナ時季デハ勞働爭議ナドハヤレルモノデハナイ、ダカラ大體アノ鑛夫ガ勞働爭議ニ參加スルカドウカト云フコトヲ見ル時ニ、アレハ筆筒

モ持ツテ居ル、長火鉢モ持ツテ居ルカラア
レハ駄目ダラウト言ツタモノダ、所ガ吾々
ハサウ言フノダケレドモ、一般ノ會社ノ下
ノ者ハ、何ダ坑夫ノ癖ニ箆ヲ持チ、鏡ヲ
持チ、茶簞箆ヲ持チ、長火鉢ヲ持ツテ贅澤
ダト言フ、ダカラ其ノ山ニ居者カセヨウト云
フ考ヘ方ナカ、唯贅澤ダト言ツテ非難スル
考ヘ方ナカ、其ノ肚ガ決ラヌデ今日マデ
坑夫ヲ使ツテ居ツタ、殊ニ地下労働ト云フ
モノハ、サウ簡單ナモノデハナイノデス、
又或人ハ此ノ頃健康保險法ヲ支拂フ所ノ金
ガ殖エテ困ルト言フ、ソレハ何ヲ意味スル
ノデアルカ、ソレダケ健康保險法ヲ會社ガ
負擔シナケレバナラヌ金ガ殖エタト云フコ
トハ、結局ハ災害ガ殖エタト云フコトデ
ス、唯徒ニ出費ガ殖エタノデハナイ、ソレ
ニ伴フ所ノ災害ガ殖エテ居ルト云フコトノ
認識ガ足ラス、此處ノ山ノ坑夫ハ此處ノ山
ノ坑夫デハナイ、ヤハリ何處カヘ行ツテ掘
ル所ノ坑夫デアルカラ、坑夫全體トシテ日
本全體トシテノ労働力ノ保有、培養、育成
ト云フコトヲ考ヘナイデ、俺ノ山デ使ツ放
シノ奴ハ何處ヘ行ツテモ駄目ダ、或ハ俺ノ
山デ使ツテ疾病サセテシマヘバ、ソレデ事
足リルト云フヤウナコトニナリマスレバ、
日本全體ノ労働力ノ減退ヲ來ス、殊ニ地下
労働ノ減退ヲ來スコトニナル、地下労働者
ハ中々得ラレナイ、餘程是ハ育成培養シ、
鑛業界ニ留メテ置カナケレバナラナイ、
ナゼ飛行家ニナルカト言ヘバ——是ハ子供
等ハ飛行家ニナリタガル者ガ澤山アル、ソ
レハ飛行家ニナレバ賃銀ガ良イトカ何トカ
云フコトヨリモ、一ツノ名譽ニナル、坑夫
デモヤハリ同ジデス、賃銀ダケデハ迎モ駄
目デス、名譽ヲ與ヘ將來ヲ保證スレバ私ハ

坑夫ト云フヤウナモノモ本當ニ責任アル坑
夫ガ生レテ來ルト思ヒマス、坑夫ト云フモ
ノハ斯ウ云フ苦境ニアレバコソ坑夫道徳ト
云フモノハ非常ニ固イ、坑夫仁義ト云フモ
ノハ固イノデス、私ハ恐ラク世ノ中ニ於テ
仁義ノ固イノ坑夫ノ右ニ出ヅル者ハナイ
ト思フ、是ダケオ互同志ガ手ヲ握リ合ツテ
オ互ニ助け合ハナケレバ坑夫ト云フモノハ
存在シ得ナカッタダケニ、徒ニ私ハ唯賃銀
ヲ上ゲナケレバドウダトカ上ゲレバドウダ
トカ云フコトヲ考ヘナイデ、モット根本的
ナ坑夫對策ヲ商工省ガ御考ニナラナケレバ
ナラナイ、其ノ產額ノ六割、七割ガ坑夫ノ
力ニ依ラナケレバナラナイノデアリマスカ
ラ、私ハ坑夫對策ヲ疎ニシテハ増産ガ出來
ナイト思ヒマスケレドモ、此ノ點ニ付テノ
御所見ハ如何デアリマスカ、伺ヒタイ
○小金政府委員 地下労働ヲ本體トスル所
ノ鑛山労働ノ特殊性ニ付キマシテ、色々參
考ニナル御話ヲ承ツタノデアリマス、殊ニ
私共鑛山行政ノ方カラ見マスルト、如何ニ
モ工場労働ト鑛山労働、或ハ工場經營ト鑛
山經營トハ本質的ニ違ツテ居ルノニ拘ラ
ズ、動トモスルト混同サレルコトニ付テハ
非常ニ遺憾ニ考ヘテ居リマス、其ノ點ハ全
ク同感デゴザイマス、尙ホ其ノ地下労働ヲ
基本トスル鑛山労働ノ特殊性並ニ坑夫ノ重
要性ニ付キマシテハ十分私共モ考ヘテ、其
ノ坑夫ヲ如何ニ保護シテ、ソレカラ坑夫ニ
能率ヲ如何ニシテ發揮シテ貰フカト云フコ
トニ付キマシテハ、十分考ヘテ見マス、是
ハ所管ハ厚生省ト云フコトニナツテ居リマ
スガ、重要鑛物ノ増産ヲ確保スルト云フ見
地カラ、ドウシテモ鑛夫ノ問題ヲ、所管ガ
違フカラト申シテ、輕視スル譯ニ參リマセ

ヌノデ、此ノ點ハ色々研究モシ、又考ヘテ
見マス、厚生省ト協力致シマシテ、出來ル
ダケノ施設ヲ致シタイト考ヘテ居リマス
○川俣委員 私人増産ト全ク不可缺ナ問題
ト思ヒマス、石炭方面ニ於キマシテハ、人
間一人殖エレバ半殖出ル、隨テ一人見付ケ
レバ半殖ダト云フノデ、寧ろ労働者ノ募集
ニ全力ヲ擧ゲテ居ルト云フ狀態デアリマ
ス、鑛山ニ於キマシテモ同様デアリマス、
隨テ労働對策ニ付キマシテハ、十分ナ考慮
ヲ拂ハナケレバト云ツテモ、度々云フコト
デアリマスガ、唯考慮スルダケデハ心細イ
ト思フノデアリマシテ、特ニ最近ノヤウニ
銅產額ノ増産ニ付テ、相當考慮シナケレバ
ナラナイ事態ニ立チ至ツテ居ル時ニ於キマ
シテハ、鑛山ニ付キマシテモ相當ノ考慮ヲ
拂ハナケレバナラナイ事態ニ至ツテ居ルノ
デアリマスカラ、十分ナル施設ヲセラレン
コトヲ要望スルノデアリマス、尙ホ此ノ際
御尋致シタイノハ、私ハ石炭山ト銅山トノ
比較ヲ申上ゲタイト思フノデアリマスケレド
モ、時間ガアリマセヌカラ詳シクハ申上ゲ
マセヌガ、燃料局ノ人モ御居デデアリマス
ガ、何故石炭ノ方ガ喧シクナツテ、銅ガ喧
シクナラナイカト云フコトニ付テ不思議ニ
思ツテ居リマス、當然ノヤウデアリナガラ
當然デナイト思フ、昔ハ鑛業界ノ王者ハ產
銅者デアツタ、住友、古河、日立、藤田、
三菱、三井ト云フヤウニ銅ヲ生産シテ居ル
者ガ鑛業界ニ於ケル有力ナ地位ニアツタ、
所ガ今日デハ寧ろ產銅界ト云フモノハ何レ
ノ會社ト雖モ赤字ダト思フ、赤字デナイ會
社ガアレバ、ドノ位アルカ又赤字ヲ出シテ
居ルノガドノ位アルカト云フコトハ明瞭
ニ分ルト思ヒマスカラ、寧ろ此ノ際名前

ハ出サナイデモ宜シウゴザイマスガ、説
明ガ出來レバ御示シテ願ヒタイ、ナゼカ
ト云フト、生産シテ居ル物ヲ民間ニ出シ
テ居ナイ、指定サレタ所ニ出シテ居ル、
即チ公定値段デアル、所ガ炭山ノ方ハナ
ンデ儲カルカ、何處ニ共販會社ニ對スル
反對ガアルカト云フト、アレハ金融關係
ダト云フ、尤モナ話、小山ノ連中、アウトサ
イダー」ガ共販會社ニ反對スル原因ハ二ツ
アル、一ツハ金融關係、尤モデス、金融ガ
得ラレナケレバ小山ハヤレナイカラ尤モデ
ス、其ノ裏ハ何カト云フト、勸業銀行ノ金
融ヤ興業銀行ノ金融ハ形式上難カシイカラ
困ル、サウ云フ金融ダナク、個人金融、十
萬圓ノ鑛山ニ對シテ十二萬圓モ貸シテ呉
ル、闇ヲ含シダ金融、ソレガ小山ノ人々ガ
喜シデ居ル金融デアル、ソレガ共販會社ニ
ナルト正當ナ金融ヲシナケレバナラヌ、過
分ノ金融ハ得ラレナイカラ困ルト云フノデ、
小山ノ連中、所謂「アウトサイダー」ノ共販
ニ對スル反對ガアル、次ニ共販ニ流レ込ム
コトニナルト正當ナ取引ヲシナケレバナラ
ヌ、今日石炭ガ儲カルノハ正當ナ取引デナ
イ爲ニ儲カツテ居ル、所ガ銅山ノ方ハ正當
ナ取引ヨリ許サレナイ形ニ於テ軍需工業ニ
行ツテ居ル、從テ計算ガ出來ルノデス、石
炭ノヤウニ計算ノ曖昧ナモノデナイ、石炭
ノ山ハ赤字デアルカナイカ、算盤ト裏トア
リマスカラ決定シ難イ、銅ハ明ニ分ル、隨
テ今日ノ產銅界ハ相當ナ利益ヲ擧ゲテ居ル
カドウカ、或ハ相當危險ナ狀態ニアルカド
ウカ、會社ノ名前ハ言ヘナイデセウガ、全
體トシテ御指摘出來ルト思ヒマスカラ御尋
シタイ
(委員長退席、澤田委員長代理著席)

○小金政府委員 純然タル國內產銅鑛石カラ製鍊スル電氣銅ノ建値が一應ニ付キマシテ千五百圓デアリマシタ最近マデノ狀況ヲ概括的ニ申上ゲマスルト、川俣サンノ御説ノ通り、個々ノ鑛山ニ付キマシテハ、品位ノ良イ所ハ採算有利デアリマシタガ、大體ニ付キマシテ昨年ノ後半期ニ於テハ殆ド一パイソレカラ赤字ガ殖エタ、或ル會ノ社如キハ一營業年度ニ百數十萬圓ノ收入減ヲ來シテ居リマス

○川俣委員 銅ノ生産額ガサウ云フ危殆ニ陥ツテ居ツテ、放任シテ置イデ宜イモノカト云ヘバ、然ルベキモノデナイト思フ、以前ナラバ銅ノ鑛業界ト云フモノハ非常ナ努力ガアツタノデアリマスカラ問題ニナリ得タ、所ガ今日ノ事態ハ一般ノ民需ノ方ニ餘リ廻ル性質ノモノデナイト、軍需工業ノ必要ノ爲ニ使ハレテ居ツテ比較的ニ表裏ニ出ナイデ、民需ニ廻ツテ居ル所ノ石炭ハ世ノ中ガヤカマシイカラ、補助金ト獎勵金デ一億一千万圓モ出サウ、内容ハト云フト、他ノ鑛業界ヨリモ寧ロ石炭ハ宜イ方デス、決シテ惡クハナイ、燃料局ト鑛山局ト分レテ居リマスケレドモ、私ハ別ニ燃料局ト鑛山局ト競争シテ獎勵金ノ奪合ヒヲセヨトカ、補助金ノ取合セヲセヨト云フコトヲ勸メルノデモアリマセス、必要デナイトモノデアリマスナラバ別デアリマスケレドモ、是ハ相當危殆ニ瀕スルト言ツテハ語弊ガアルカモ知レマセスガ、相當注意ヲ要スベキ事態デハナカラウカト思ヒマスカラ、此ノ點ニ付テモウ一度若シ此處デ御答辯出來ナケレバ、何レ秘密會ニ於テ十分御尋シタイト思ヒマスガ、其ノ點御伺致シタイ

○小金政府委員 昨年後半期ノ概略ハ只今

申上ゲマシタ通りデアリマスガ、今月ニ入リマシテ三月以降ノ國產銅鑛石カラ製鍊スル純粹ノ國產電氣銅ニ付キマシテハ建値ガ、一應ニ付テ三百圓引上ゲラレルコトニナリマシタ、即チ千五百圓カラ千四百圓ニ引上ゲラレルコトニ三月一日カラナツタノデアリマス、之ニ依リマスカラ、何處ノ山デモ何處ノ製鍊場デモ大體ソレヲ目安ニ鑛山開發ノ擴充ナリ、試掘其ノ他ノ行爲ヲ併行シテヤツテ行ク、斯ウ云フ風ニナルト思フノデアリマス、銅ノ需要家ニ渡ス一應千三百五十圓ト云フ値段ニハ少シモ響カナイデ、ソレダケ上ゲルコトガ出來マシタノデ先ヅ其ノ方法ヲ採リマシタ、ソレカラ第二ニ鐵、石炭ヲ除イタ銅其ノ他ノ重要鑛物ニ付キマシテ、探鑛獎勵金ヲ五割程十五年度カラ増額致シマス、ソレカラ尙ホ選鑛場或ハ製鍊場ノ建設費ニ對シテ助成金ヲ交付スルト云フ制度ヲ昭和十五年度ニ於テ改メテ採リマシタ、併シナガラ是ダケデハ到底十分トハ考ヘラレマセス、併シナガラ一方銅其ノ他ノ重要金屬ノ重要性ニ付キマシテハ、川俣サンカラ十分御説明ノアリマシタ通りニ、是ハドウシテモ放任シテ置ク譯ニ行カナイ、併シ探鑛獎勵金ヲ増額シテ、方々デ試掘或ハ探鑛ヲ行ヒマス、ヤハリ相當ナ品位ノ山モ出テ參リマス、ソレカラ又選鑛場トカ製鍊場ノ建設助成ヲ致シマス、其ノ方ノ負擔ガ非常ニ輕減サレルト云フコトモアリマス、ソレカラ又稅務當局ト協力致シマシテ、山ノ償却ニ付キマシテモ格段ノ奮發ヲシテ貰フト云フヤウナコトヲ色々併セ行ヒマシテ、銅其ノ他ノ重要ナル非鐵金屬ノ供給ニ付テハ、先ヅ大體ニ於キマシテ昭和十五年度ノ物資動員計畫ノ數字ハ確保出來ルト吾々ハ確信致シテ居

リマス

○川俣委員 私ノ質疑ハ、マダ燃料局等ニ對シテ、石炭ノ對策及ビ鑛業警察或ハ大藏省關係ニ付テマダアリマスガ、其ノ質疑ヲ留保シテ、本日ハ此ノ程度デ打切りマス

○澤田委員長代理 ソレデハ此ノ程度ニ致シマシテ、次會ハ明後三月二日午前十時ヨリ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時二分散會

昭和十五年二月二十九日印刷

昭和十五年三月一日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局